

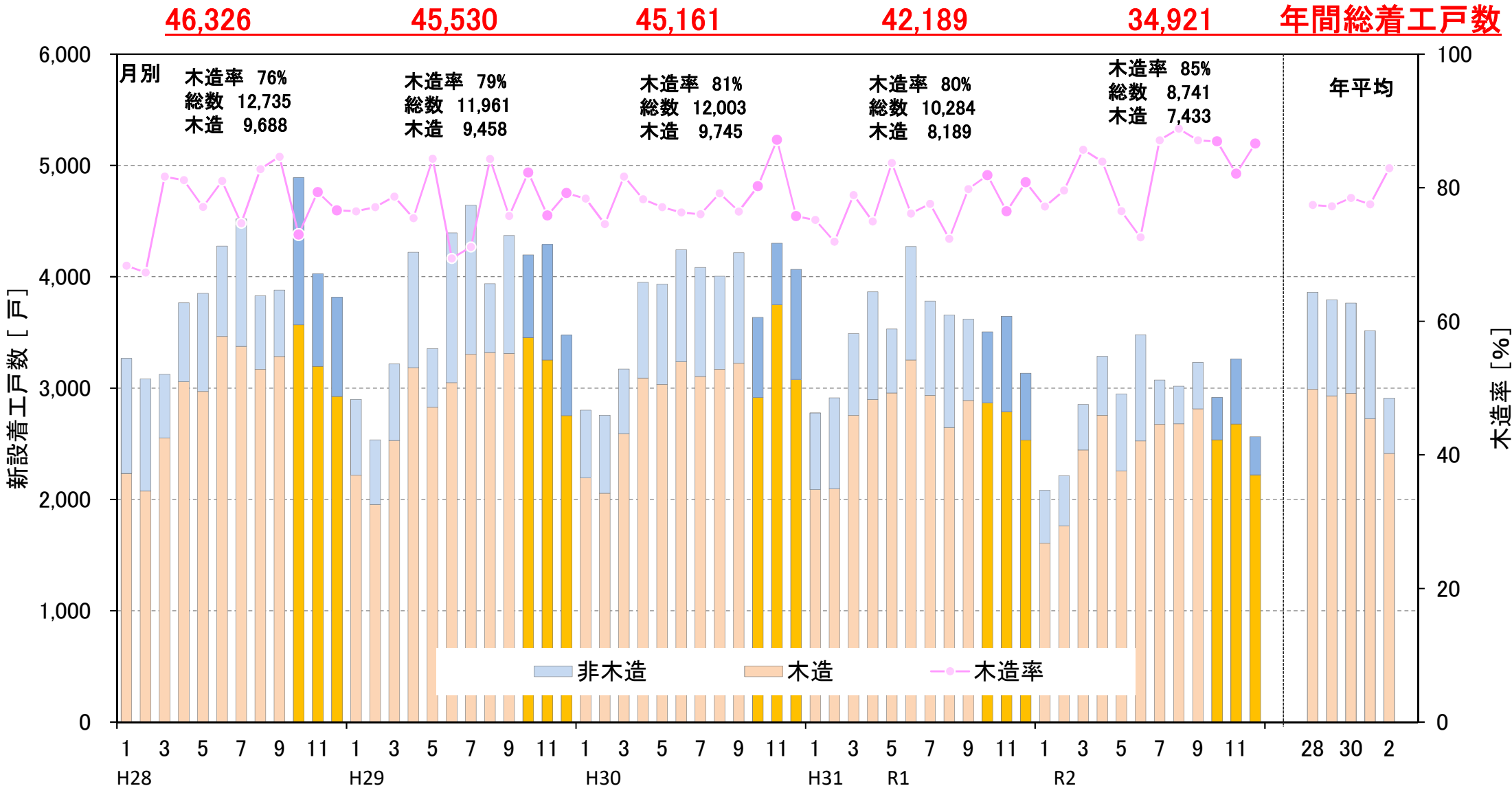
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和3年2月4日(木)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年12月)

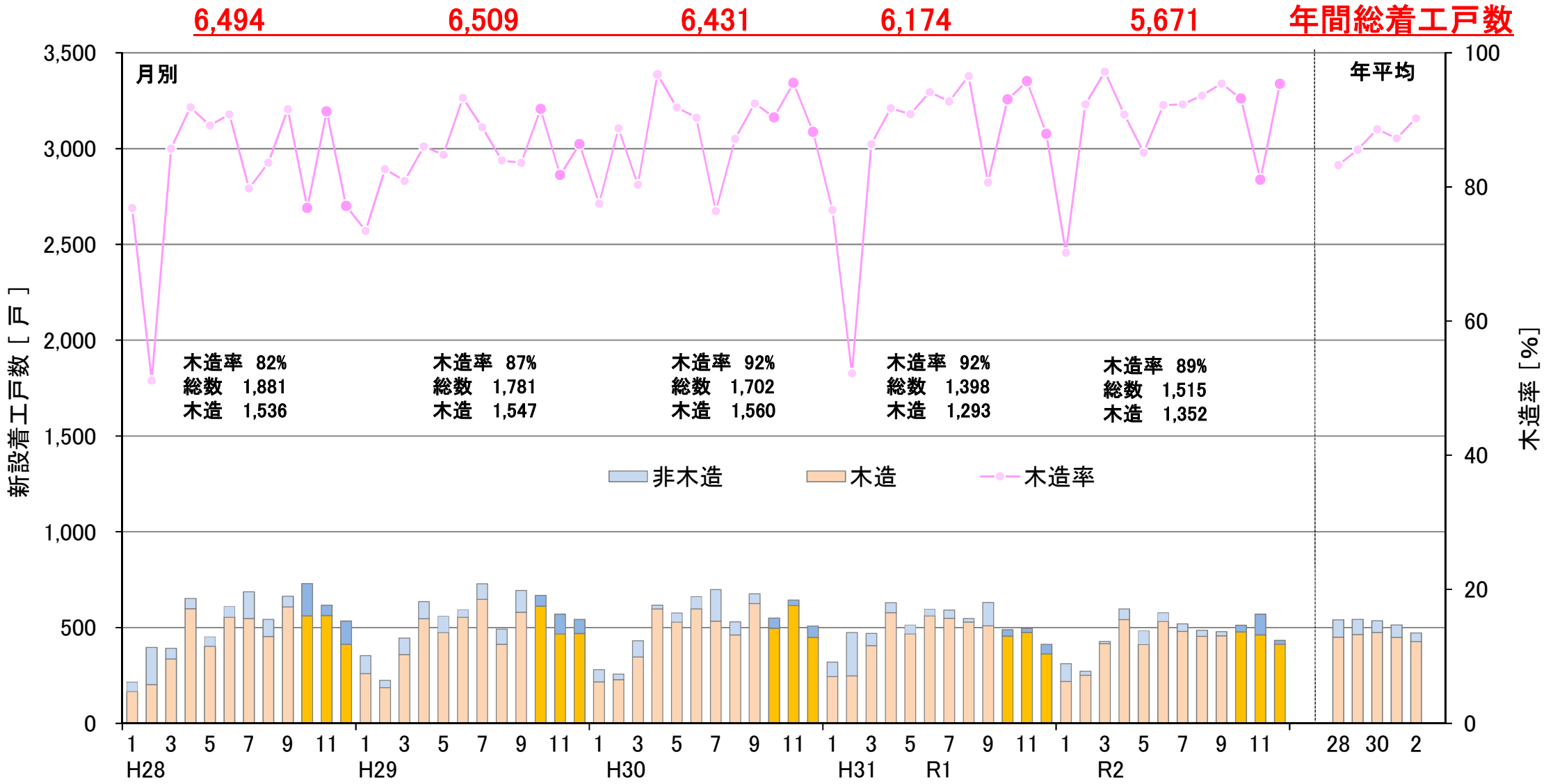
○ 東北5県の令和2年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,543戸減少した。
 この期間の木造は昨年同期より756戸減少し、木造率は5%増加した。
 ○ 東北5県の令和2年の新設住宅着工戸数は34,921戸で昨年より7,268戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年12月)

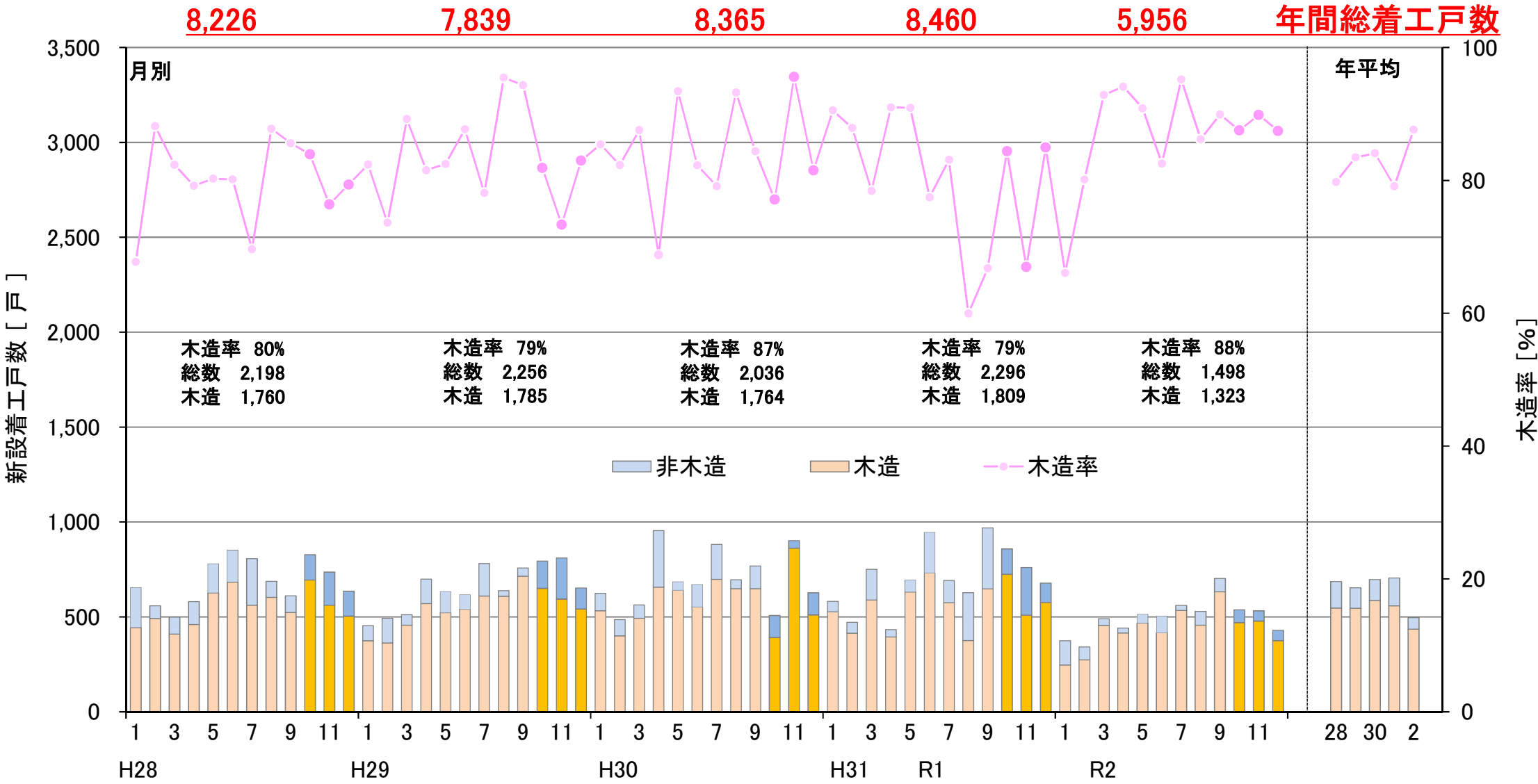
○ 青森県の令和2年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より117戸増加した。
 この期間の木造は昨年同期より59戸増加し、木造率は3%減少した。
 ○ 青森県の令和2年の新設住宅着工戸数は5,671戸で昨年より503戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年12月)

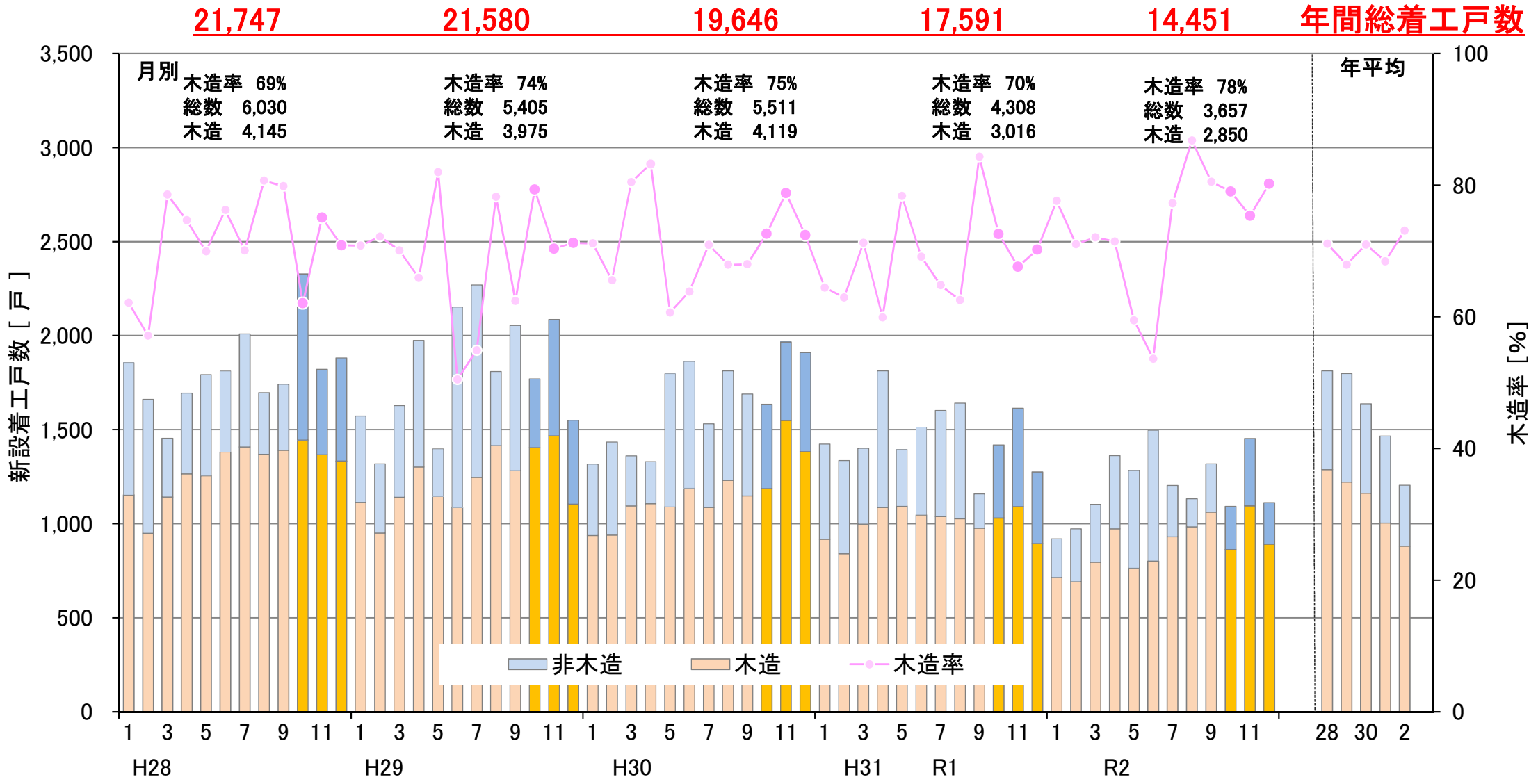
- 岩手県の令和2年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より798戸減少した。
この期間の木造は昨年同期より486戸減少し、木造率は9%増加した。
- 岩手県の令和2年の新設住宅着工戸数は5,956戸で昨年より2,504戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年12月)

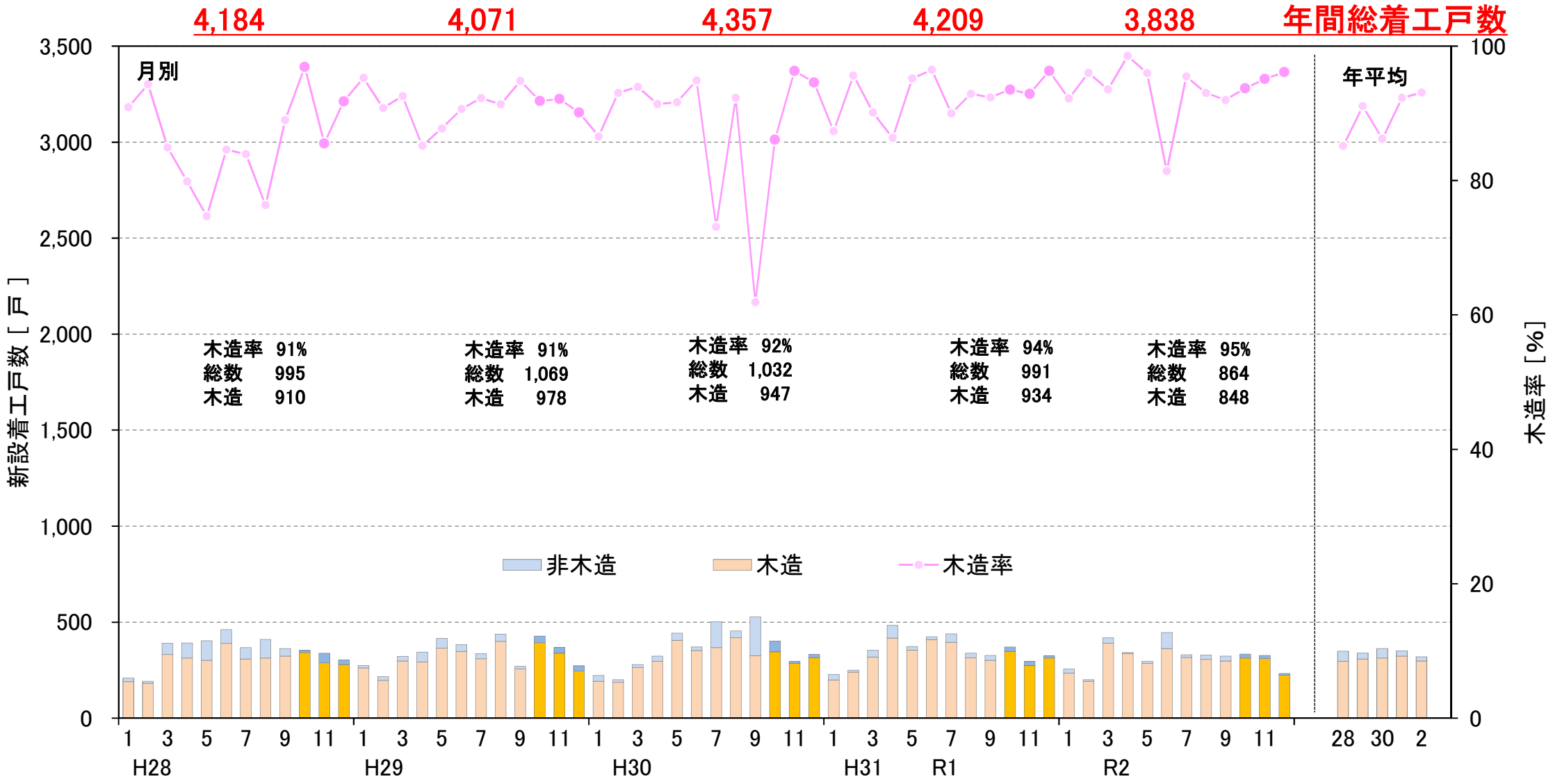
○ 宮城県の令和2年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より651戸減少した。
 この期間の木造は昨年同期より166戸減少し、木造率は8%増加した。
 ○ 宮城県の令和2年の新設住宅着工戸数は14,451戸で昨年より3,140戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年12月)

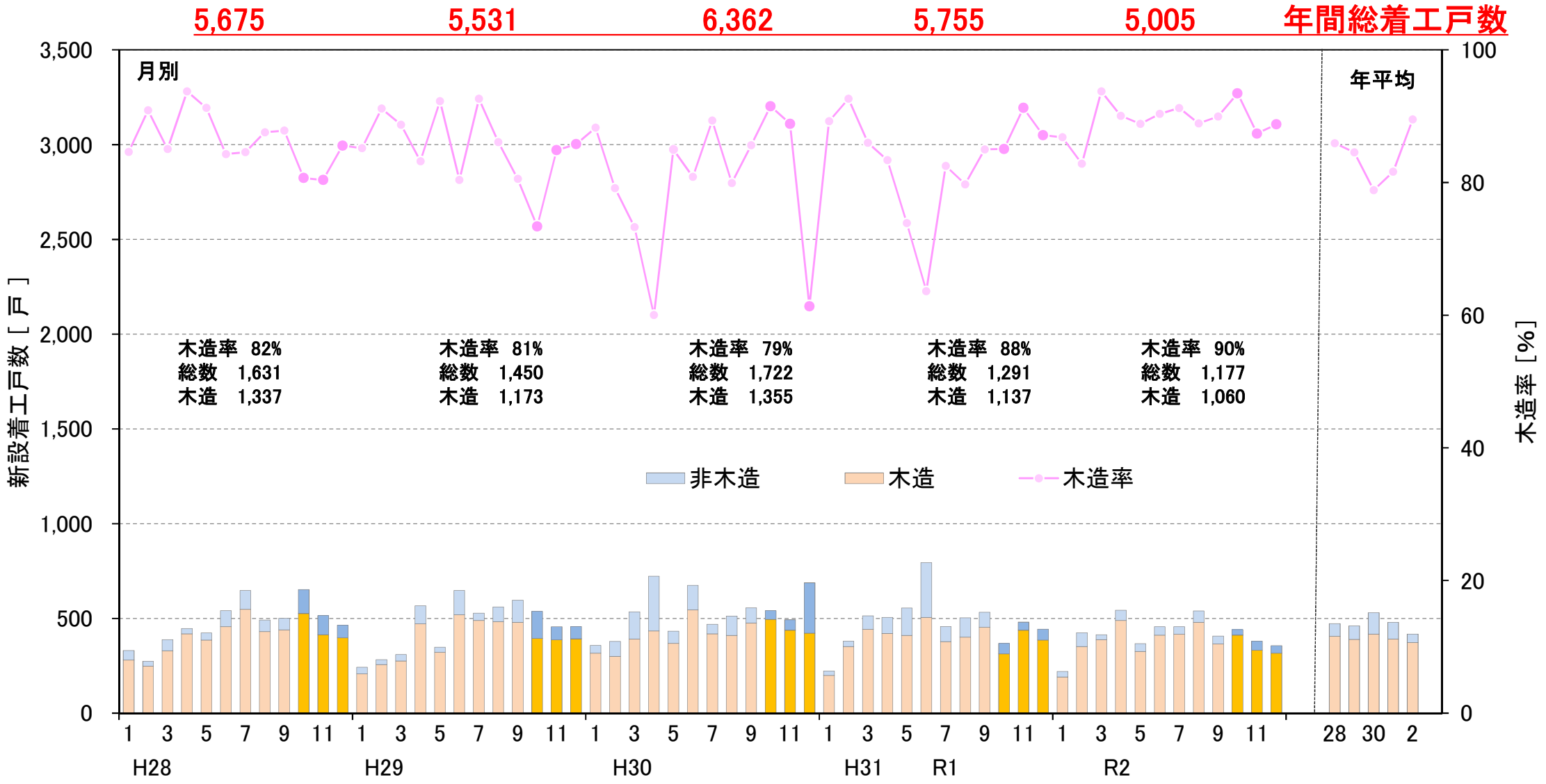
- 秋田県の令和2年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より127戸減少した。
この期間の木造は昨年同期より86戸減少し、木造率は1%増加した。
- 秋田県の令和2年の新設住宅着工戸数は3,838戸で昨年より371戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年12月)

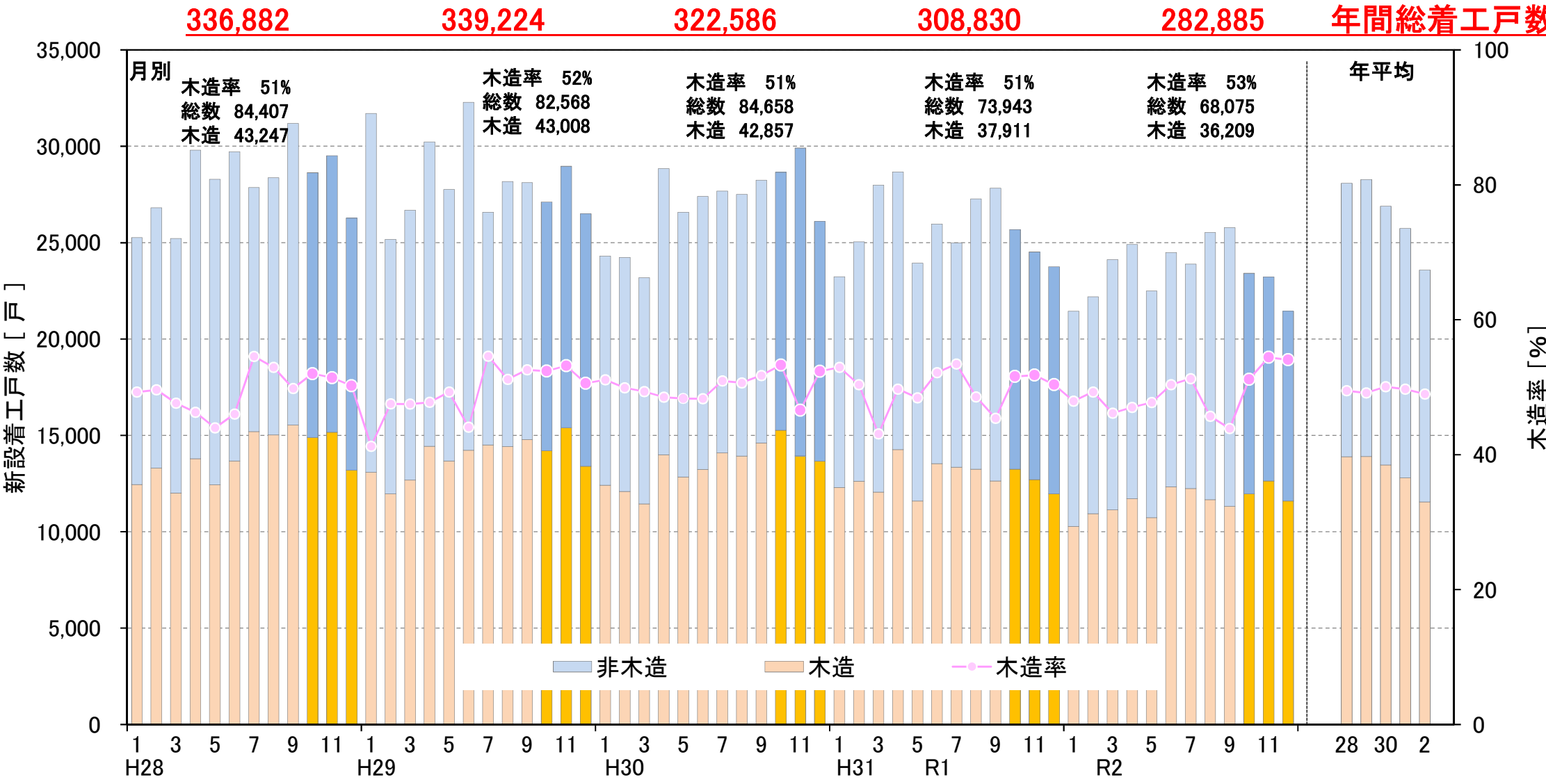
○ 山形県の令和2年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より114戸減少した。
 この期間の木造は昨年同期より77戸減少し、木造率は2%増加した。
 ○ 山形県の令和2年の新設住宅着工戸数は5,005戸で昨年より750戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年12月)

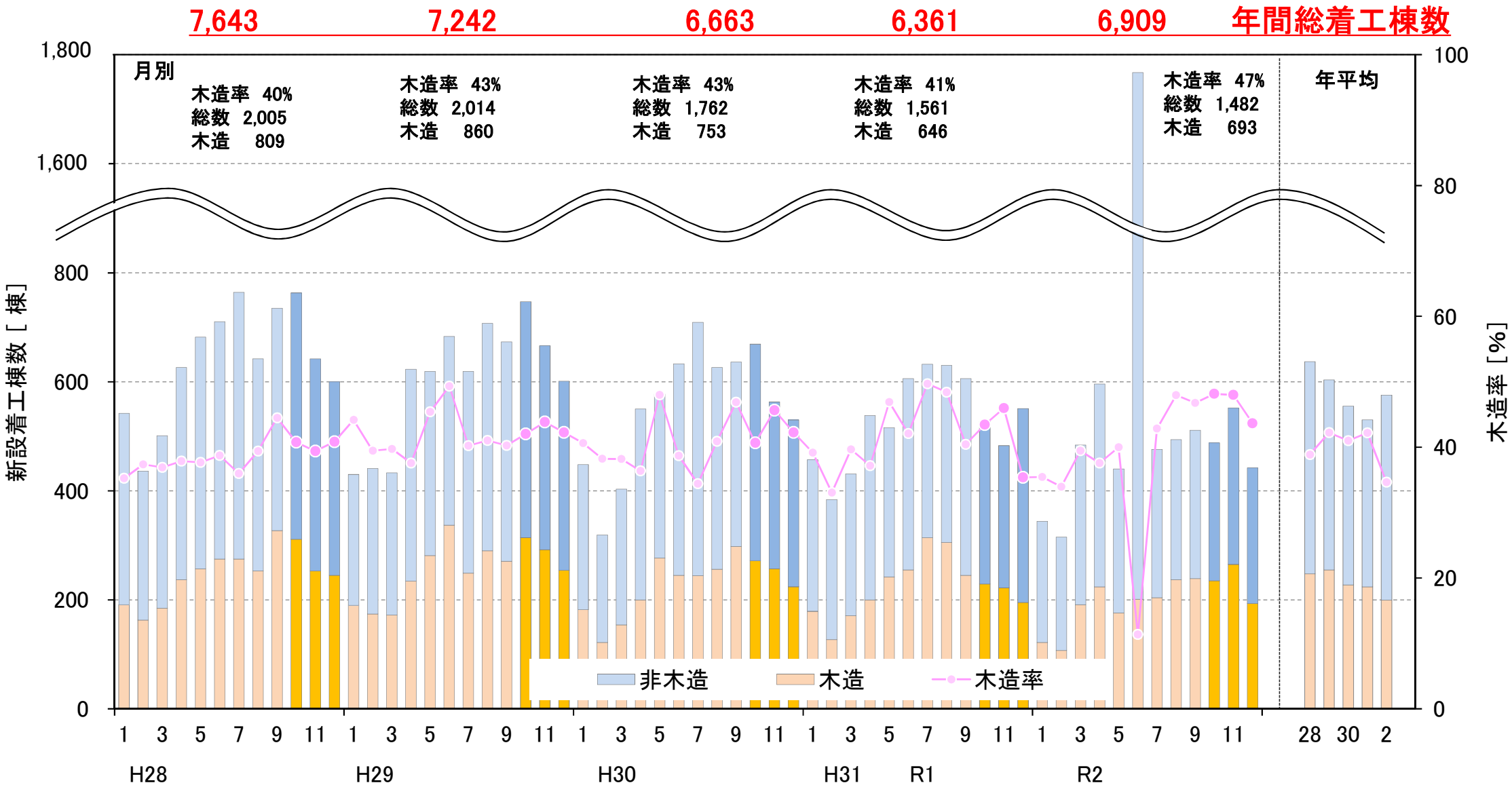
- 関東主要都市の令和2年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より5,868戸減少した。
この期間の木造は昨年同期より1,702戸減少し、木造率は2%増加した。
- 関東主要都市の令和2年の新設住宅着工戸数は282,885戸で昨年より25,945戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年12月)

- 東北5県の令和2年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より79棟減少した。
この期間の木造は昨年同期より47棟増加し、木造率は6%増加した。
- 東北5県の令和2年の新設産業用建築物着工棟数は6,909棟で昨年より548棟増加した。

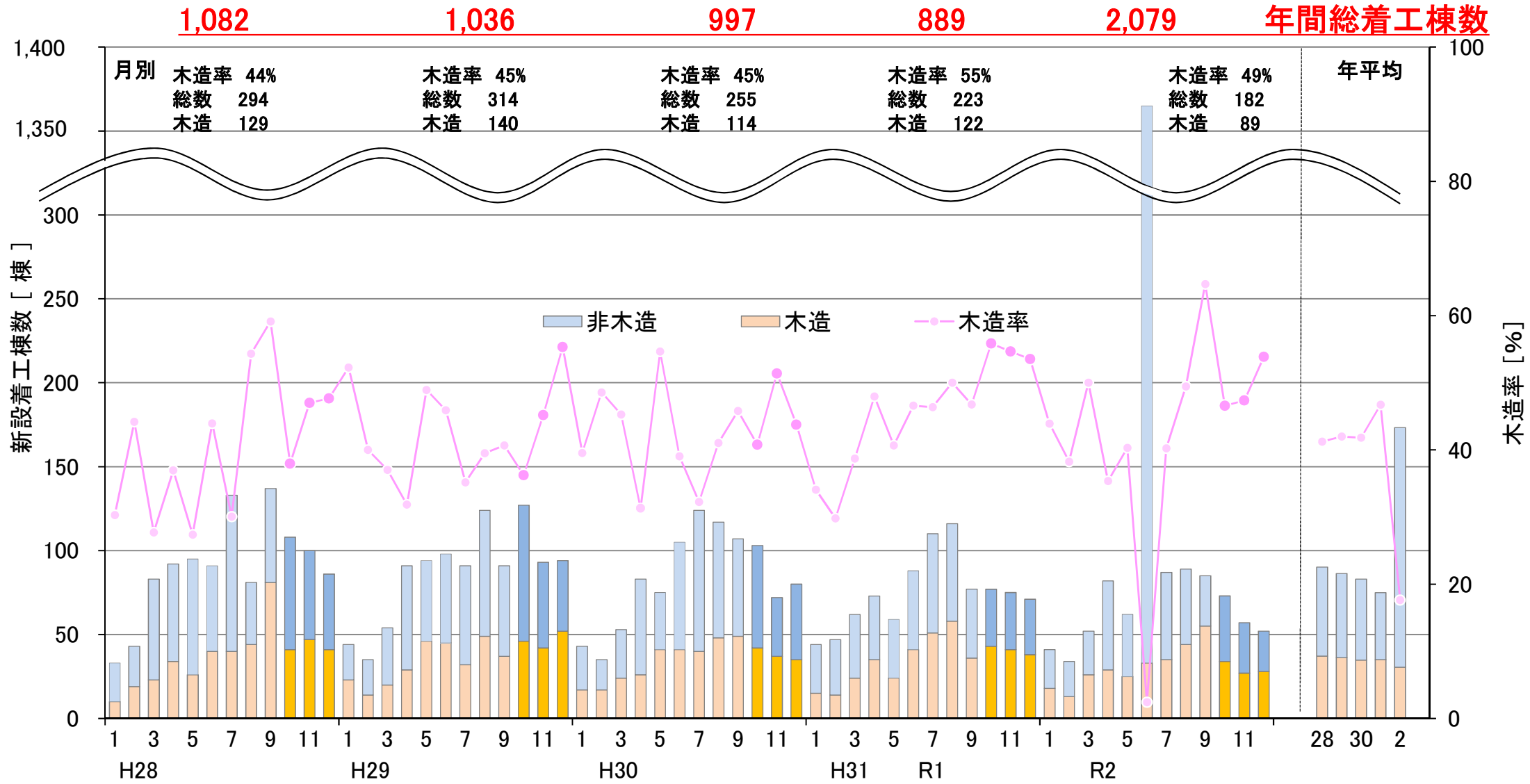


出典：国土交通省「建築着工統計」

青森県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年12月)

○ 青森県の令和2年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より41棟減少した。
 この期間の木造は昨年同期より33棟減少し、木造率は6%減少した。

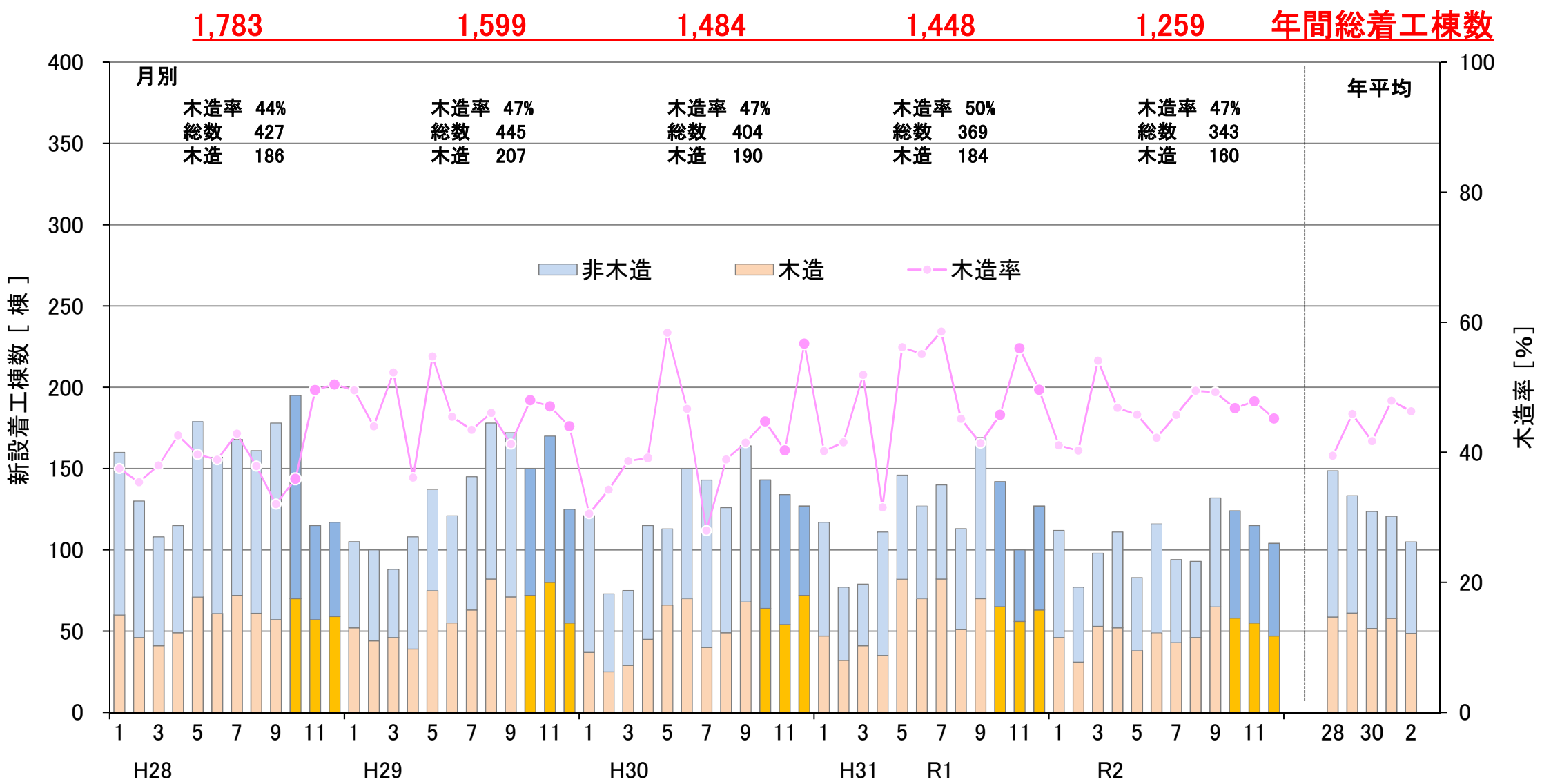
○ 青森県の令和2年の新設産業用建築物着工棟数は2,079棟で昨年より1,190棟増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

■ 岩手県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年12月)

- 岩手県の令和2年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より26棟減少した。この期間の木造は昨年同期より24棟減少し、木造率は3%減少した。
- 岩手県の令和2年の新設産業用建築物着工棟数は1,259棟で昨年より189棟減少した。

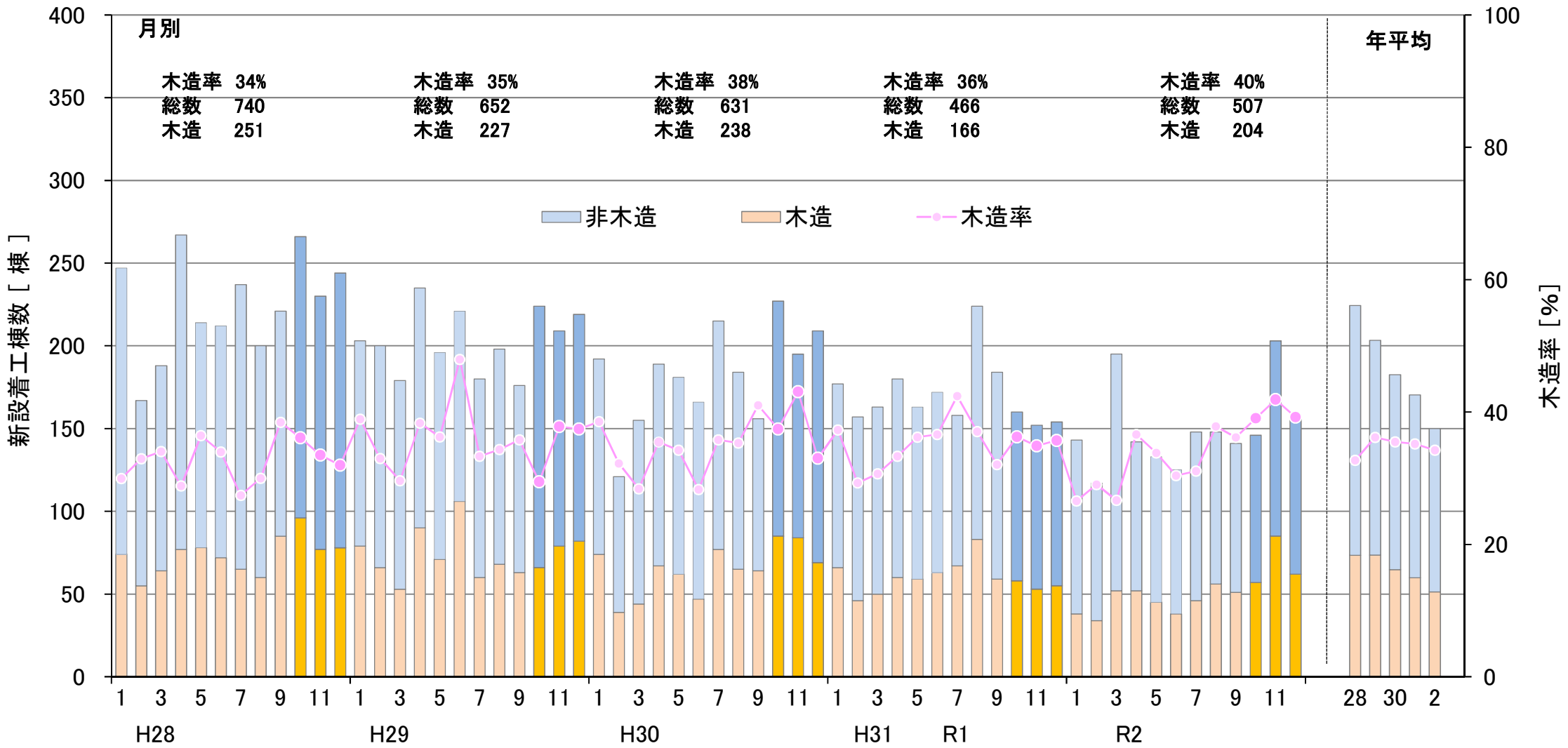


出典：国土交通省「建築着工統計」

宮城県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年12月)

- 宮城県の令和2年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より41棟増加した。この期間の木造は昨年同期より38棟増加し、木造率は4%増加した。
- 宮城県の令和2年の新設産業用建築物着工棟数は1,799棟で昨年より245棟減少した。

2,693 2,440 2,190 2,044 1,799 年間総着工棟数

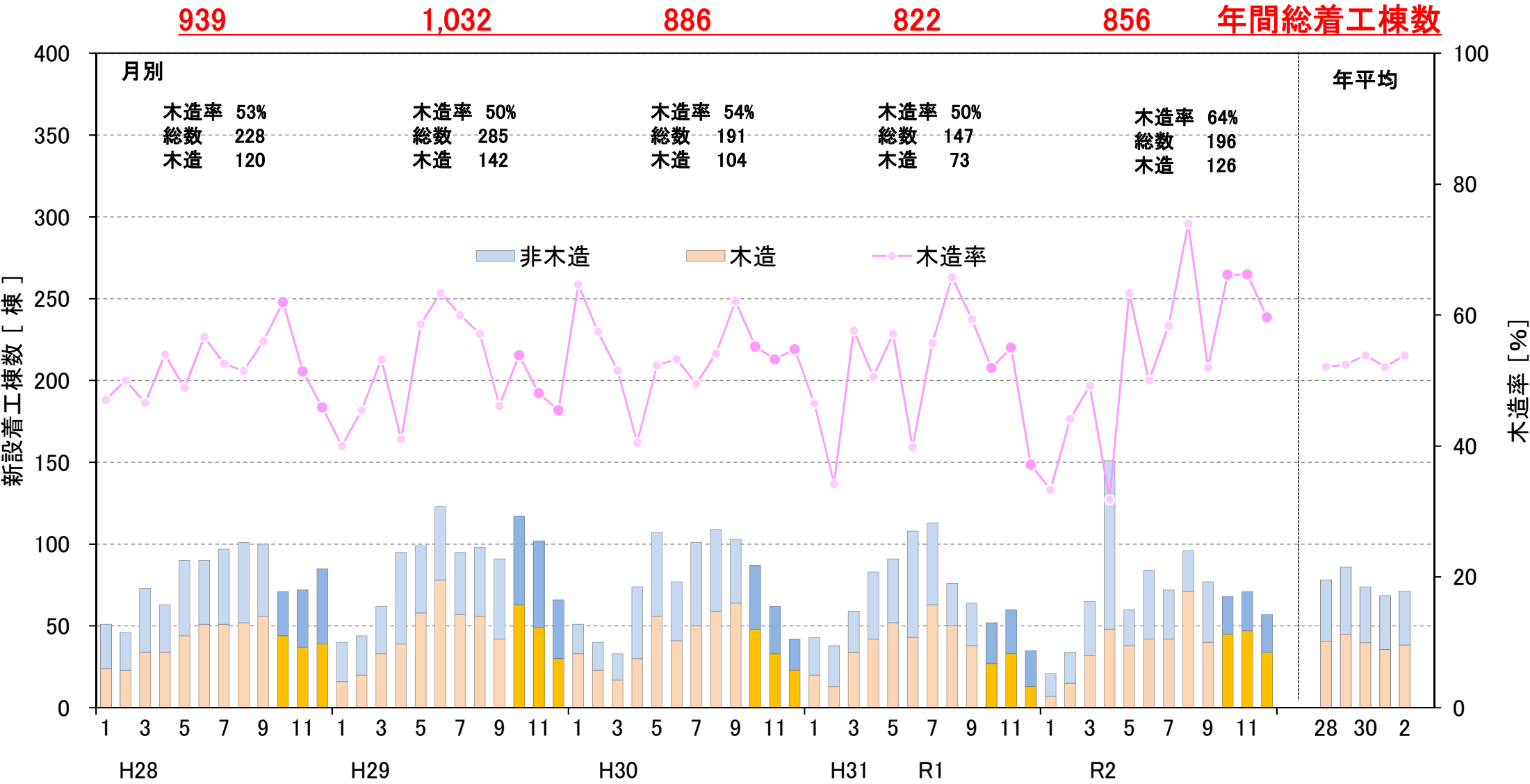


出典：国土交通省「建築着工統計」

■ 秋田県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年12月)

○ 秋田県の令和2年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より49棟増加した。
 この期間の木造は昨年同期より53棟増加し、木造率は14%増加した。

○ 秋田県の令和2年の新設産業用建築物着工棟数は856棟で昨年より34棟増加した。

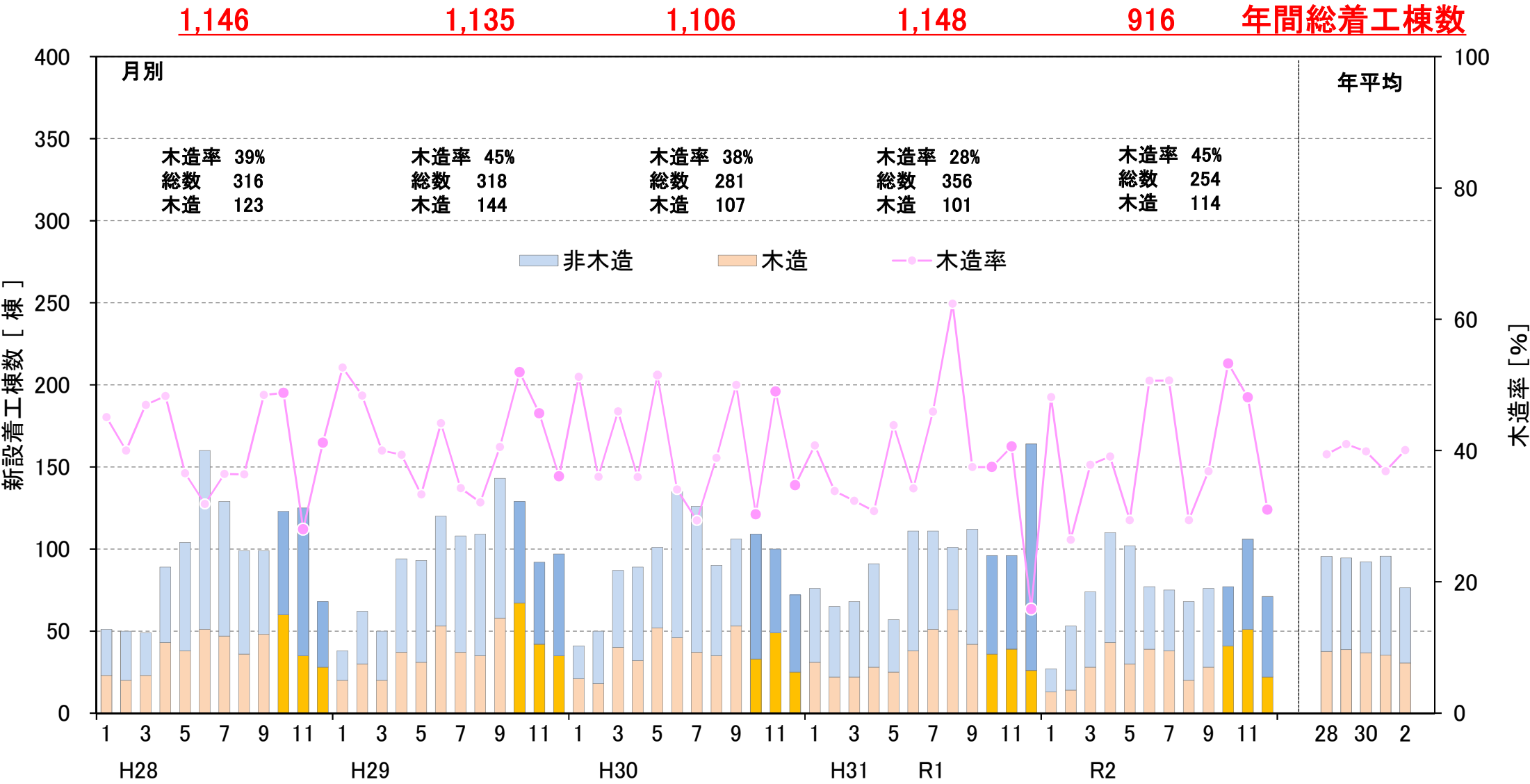


出典：国土交通省「建築着工統計」

山形県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年12月)

○ 山形県の令和2年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より102棟減少した。
 この期間の木造は昨年同期より13棟増加し、木造率は17%増加した。

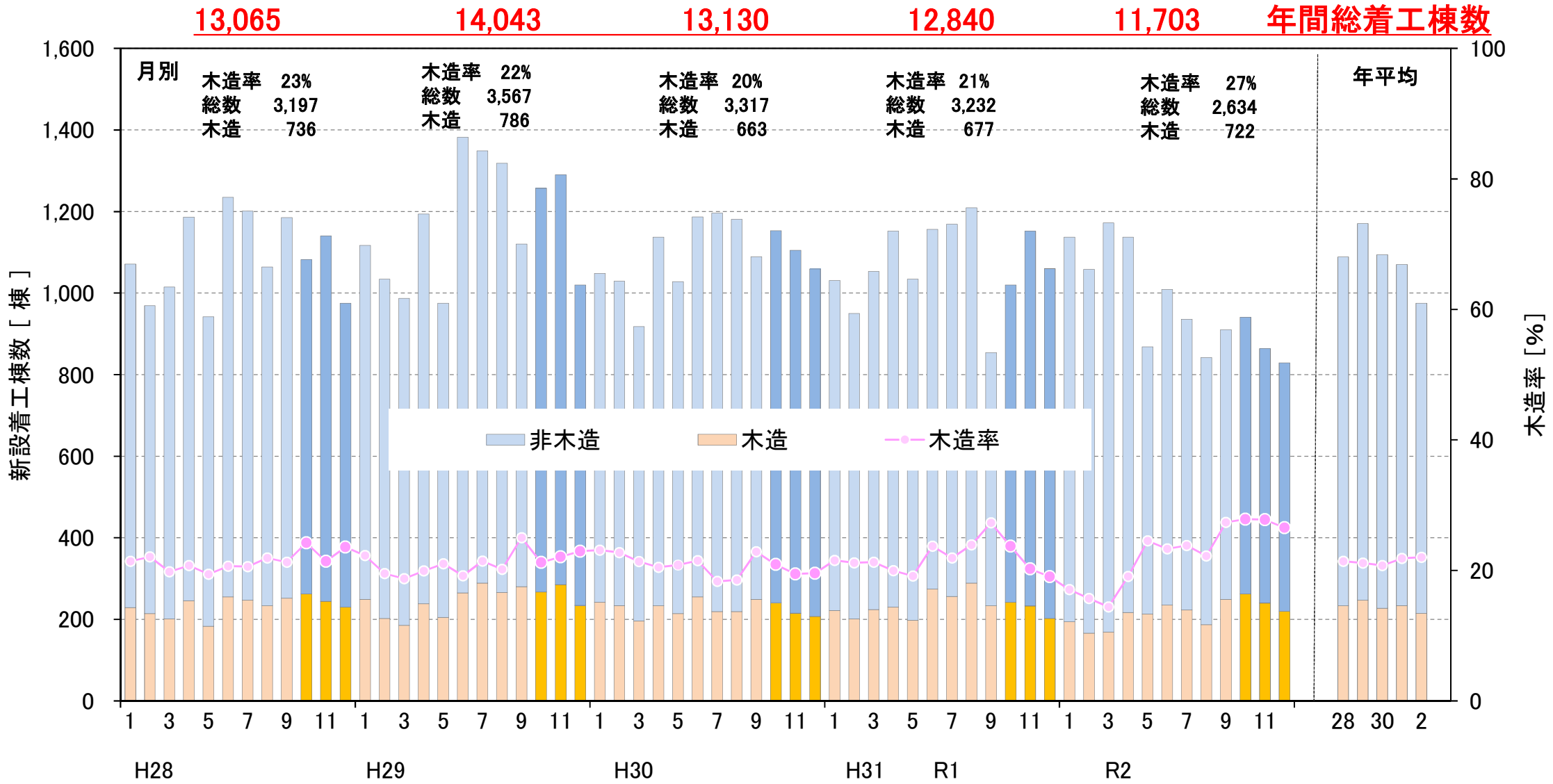
○ 山形県の令和2年の新設産業用建築物着工棟数は916棟で昨年より232棟減少した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

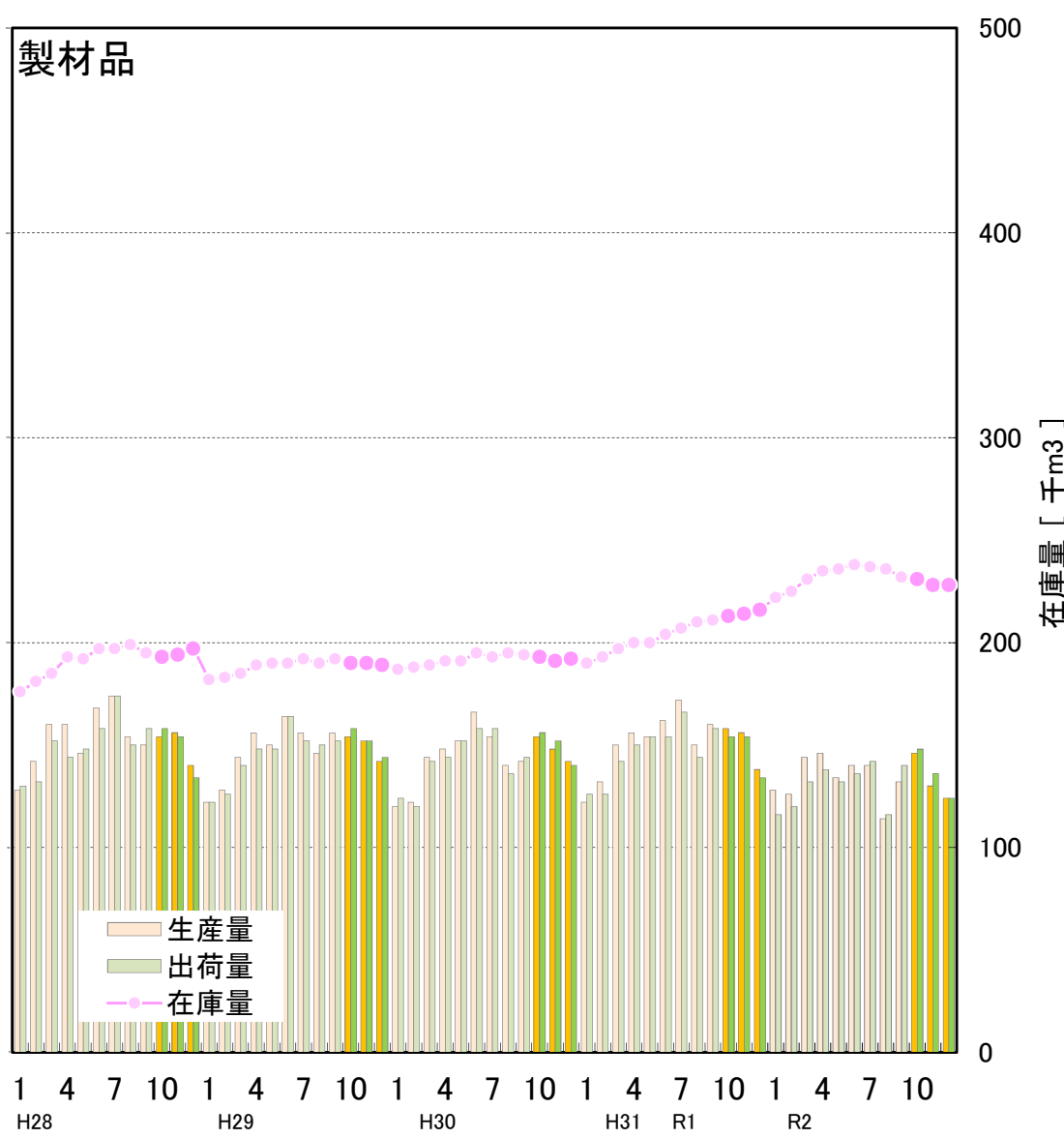
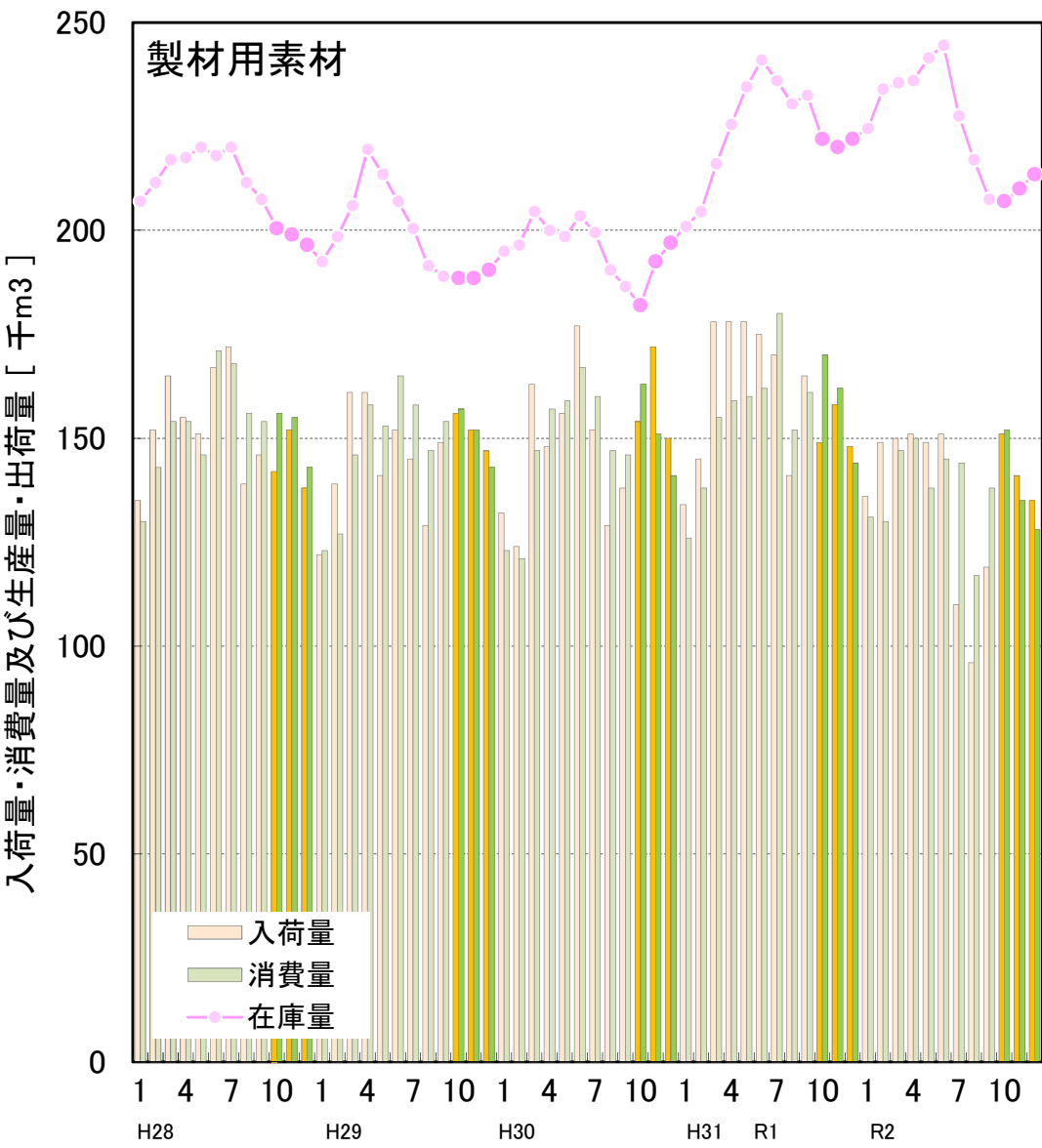
■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年12月)

- 関東主要都市の令和2年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より598棟減少した。
この期間の木造は昨年同期より45棟増加し、木造率は6%増加した。
- 関東主要都市の令和2年の新設産業用建築物着工棟数は11,703棟で昨年より1,137棟減少した。



■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年12月)

○ 製材用素材の令和2年10～12月の入荷量は昨年同期比－6%、消費量は－13%、在庫量は12月比－4%。
 ○ 製材品の令和2年10～12月の生産量は昨年同期比－12%、出荷量は－8%、在庫量は12月比＋6%。

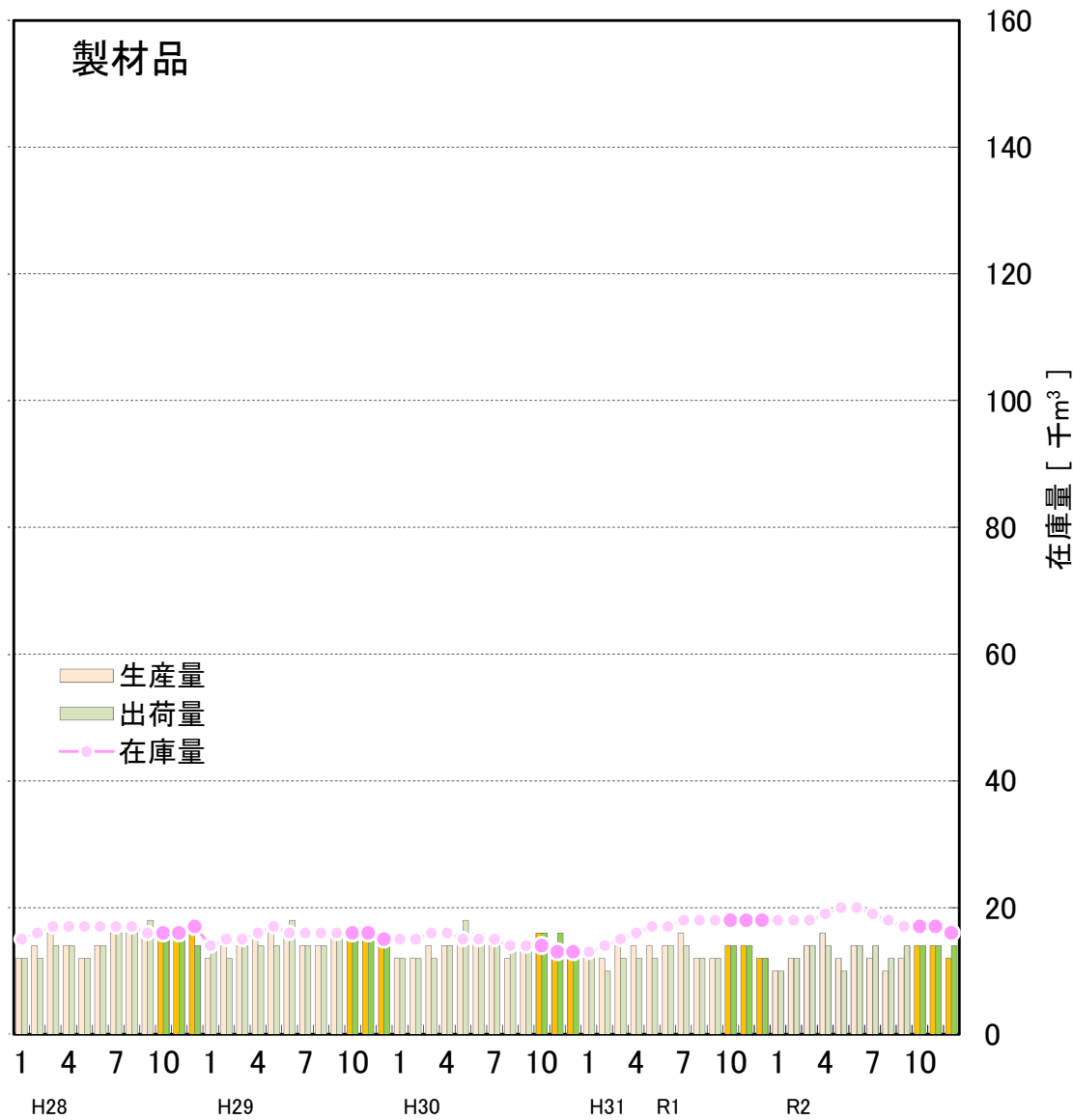
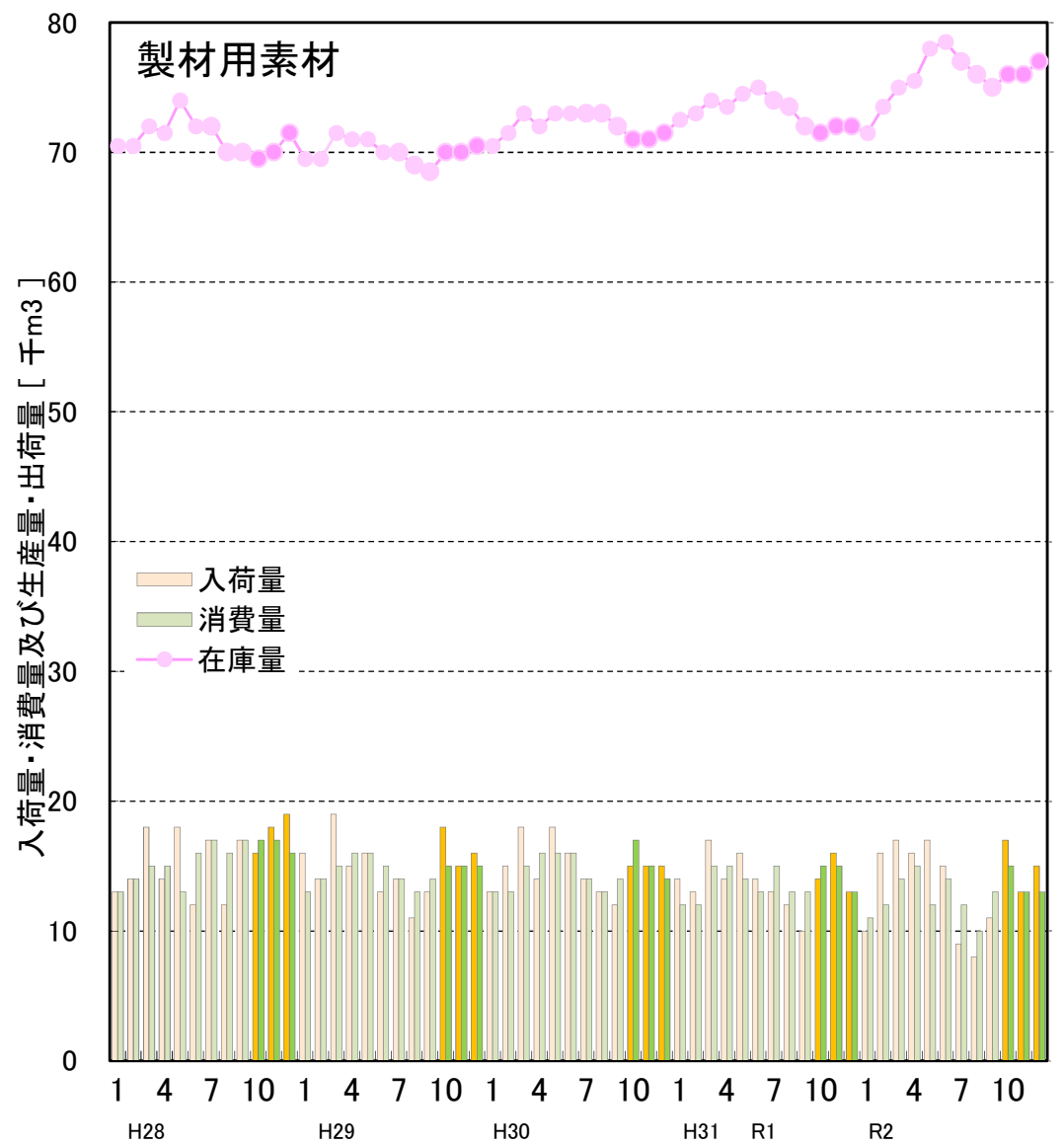


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年12月)

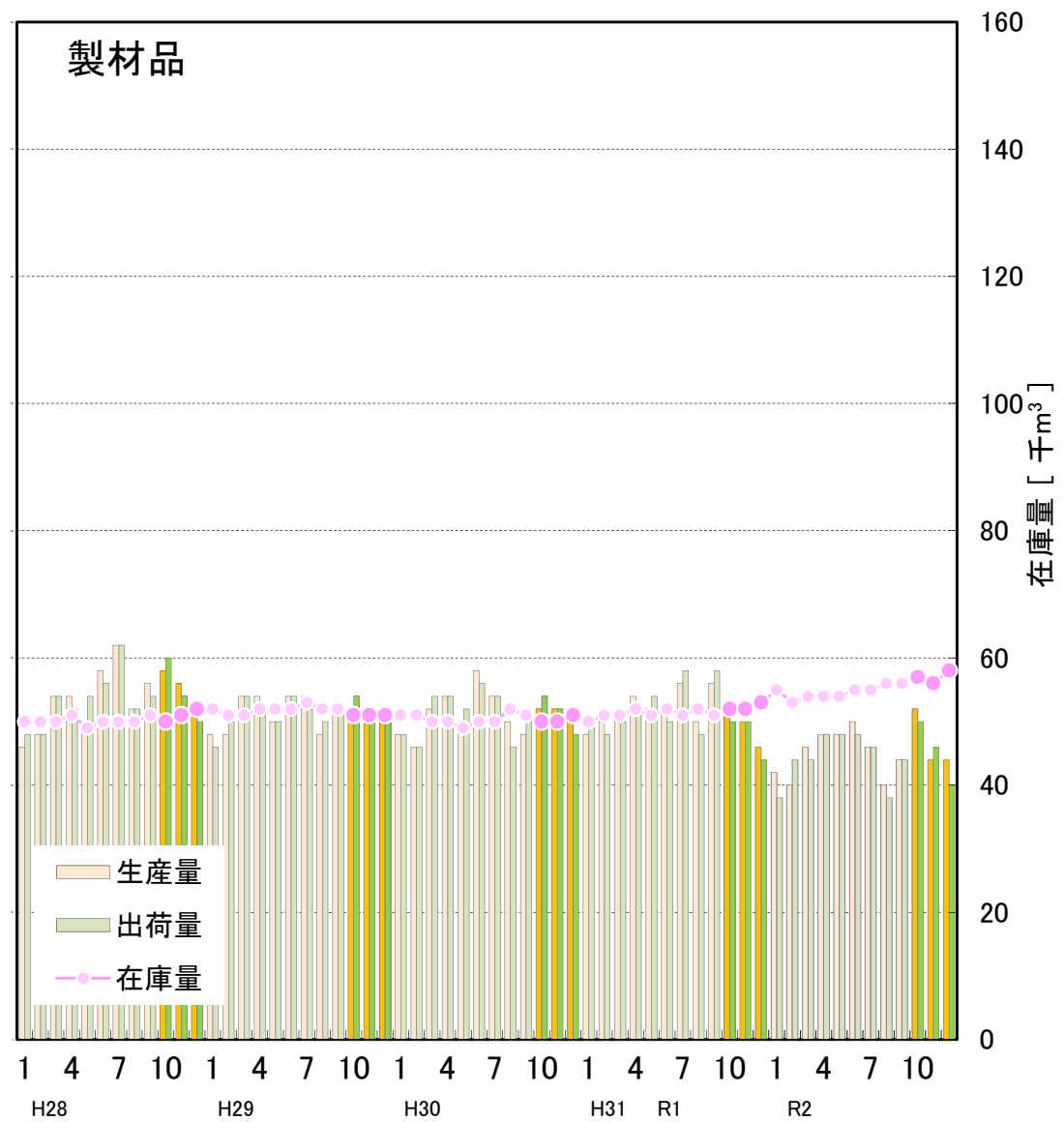
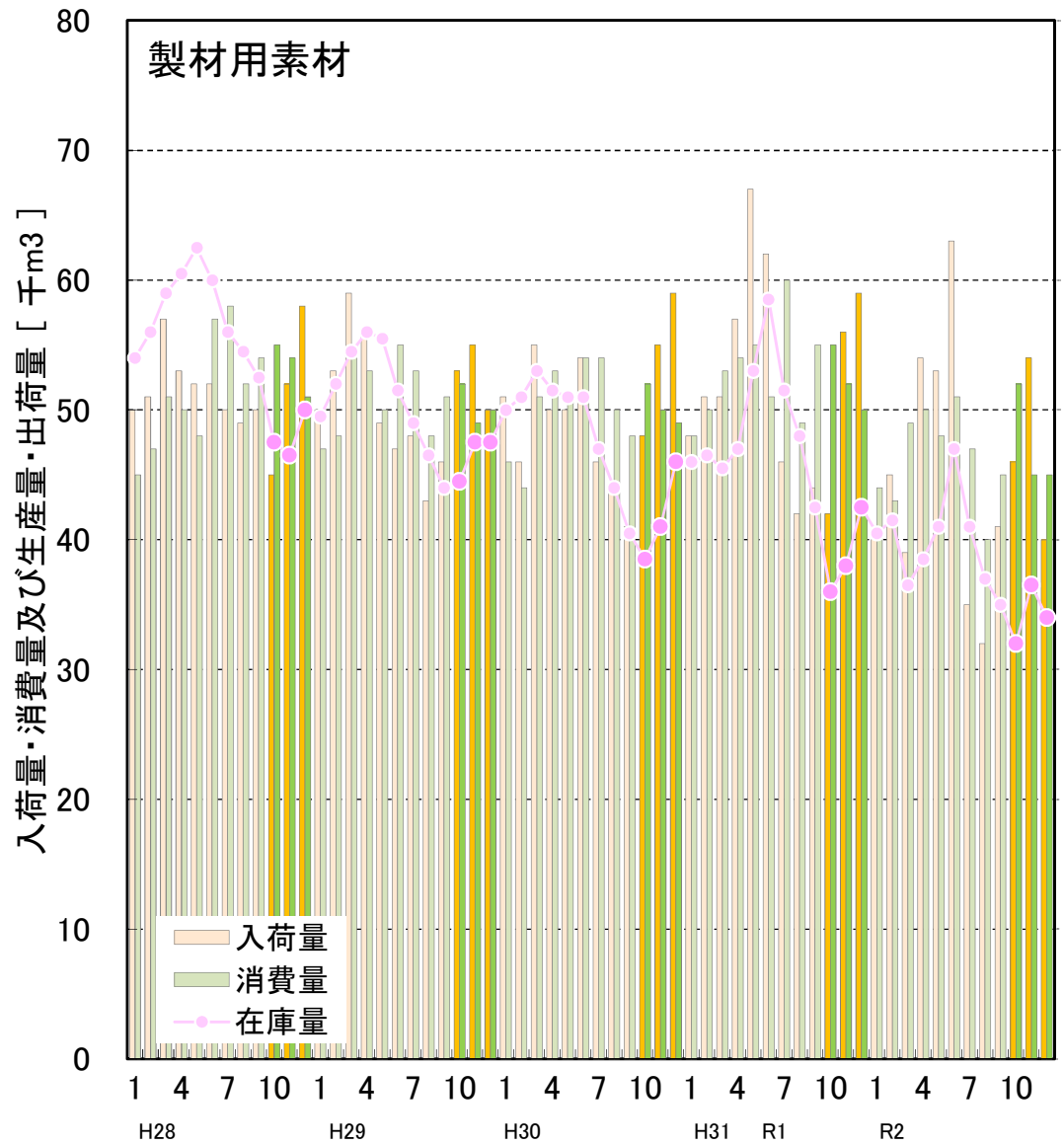
- 製材用素材の令和2年10～12月の入荷量は昨年同期比+5%、消費量は-5%、在庫量は12月比+7%。
- 製材品の令和2年10～12月の生産量は昨年同期比±0%、出荷量は+5%、在庫量は12月比-11%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年12月)

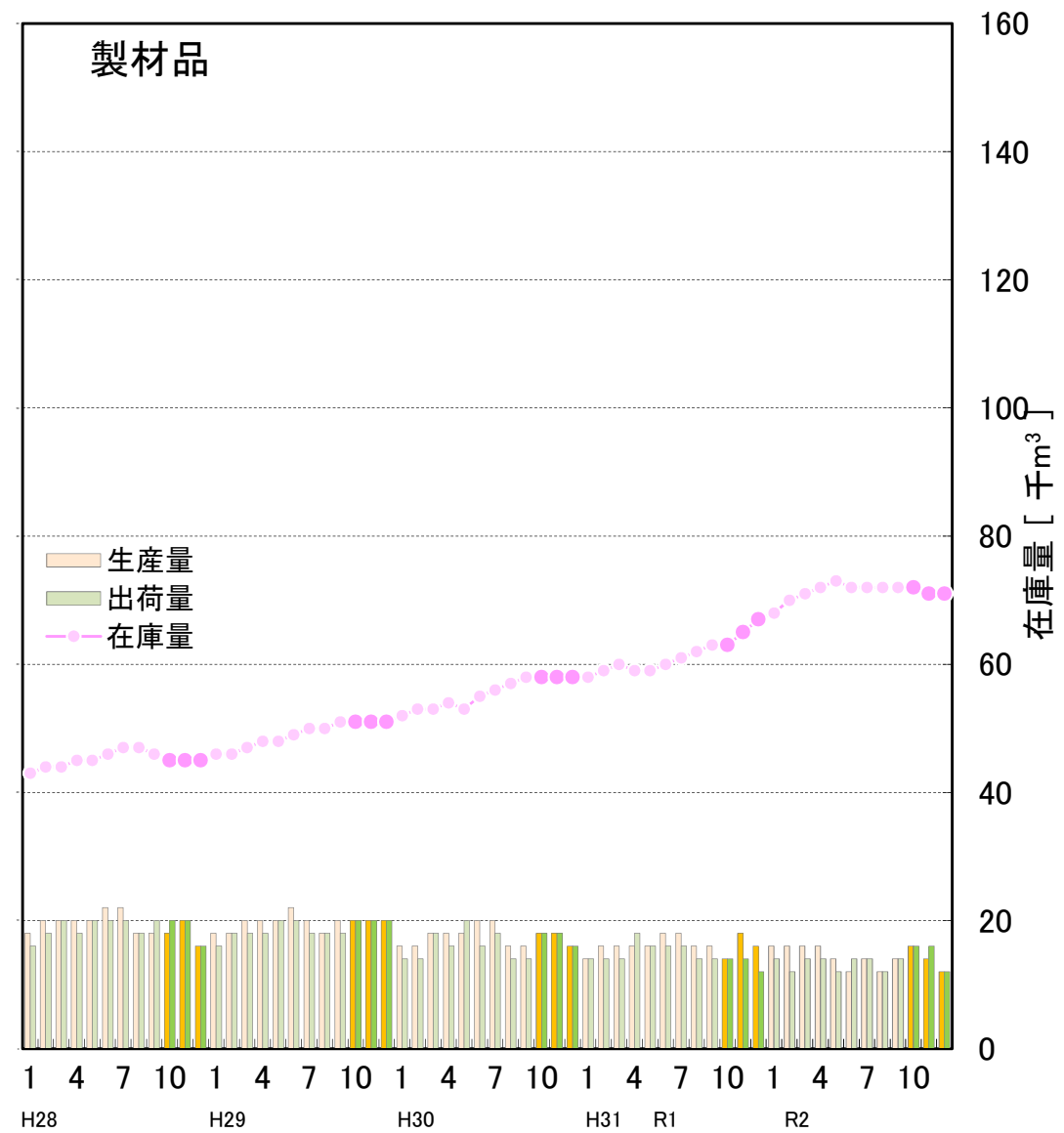
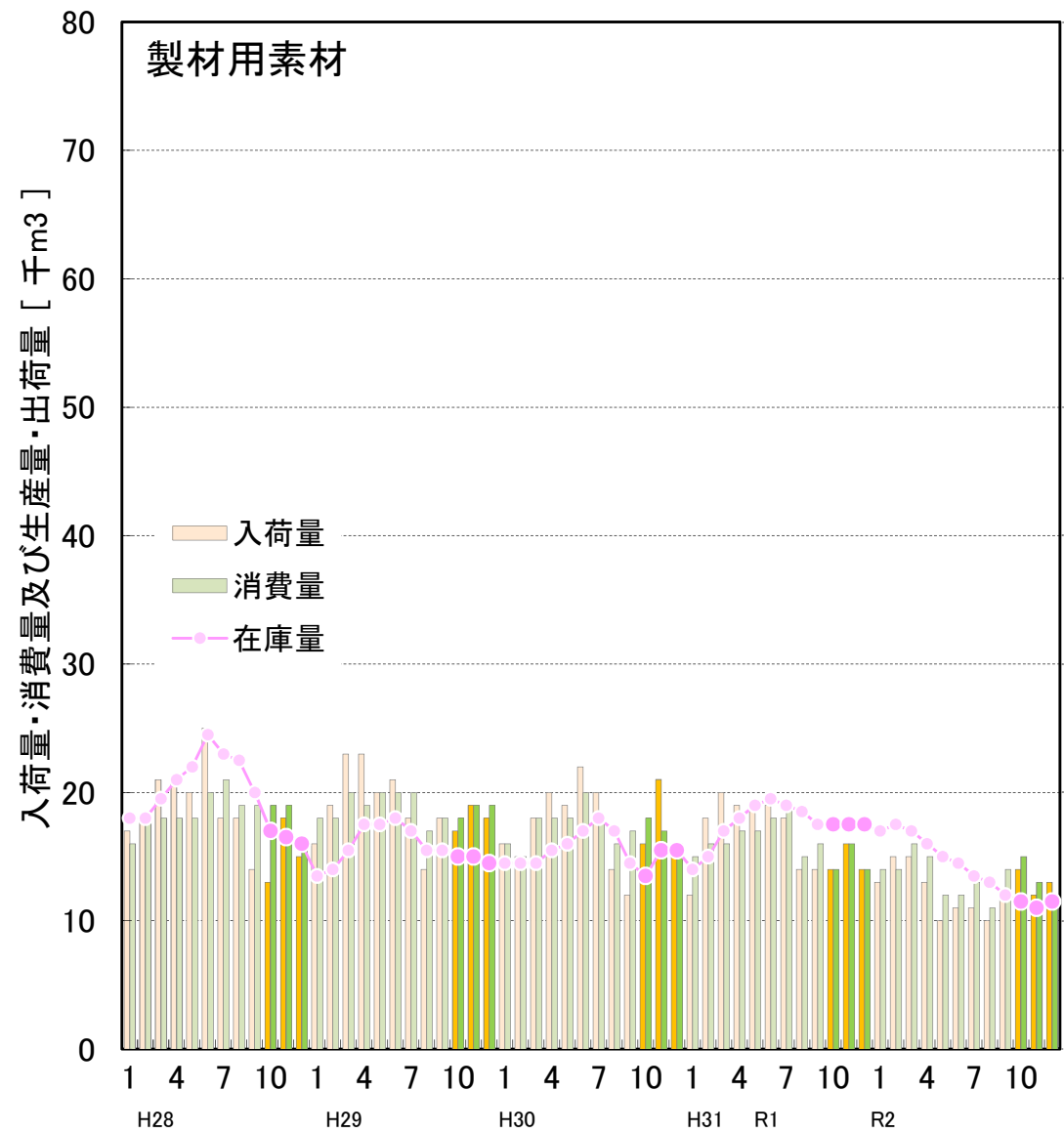
○ 製材用素材の令和2年10～12月の入荷量は昨年同期比-11%、消費量は-10%、在庫量は12月比-20%。
 ○ 製材品の令和2年10～12月の生産量は昨年同期比-5%、出荷量は-6%、在庫量は12月比+9%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年12月)

○製材用素材の令和2年10～12月の入荷量は去年同期比-11%、消費量は-9%、在庫量は12月比-34%。
 ○製材品の令和2年度10～12月の生産量は去年同期比-12%、出荷量は+10%、在庫量は12月比+6%。

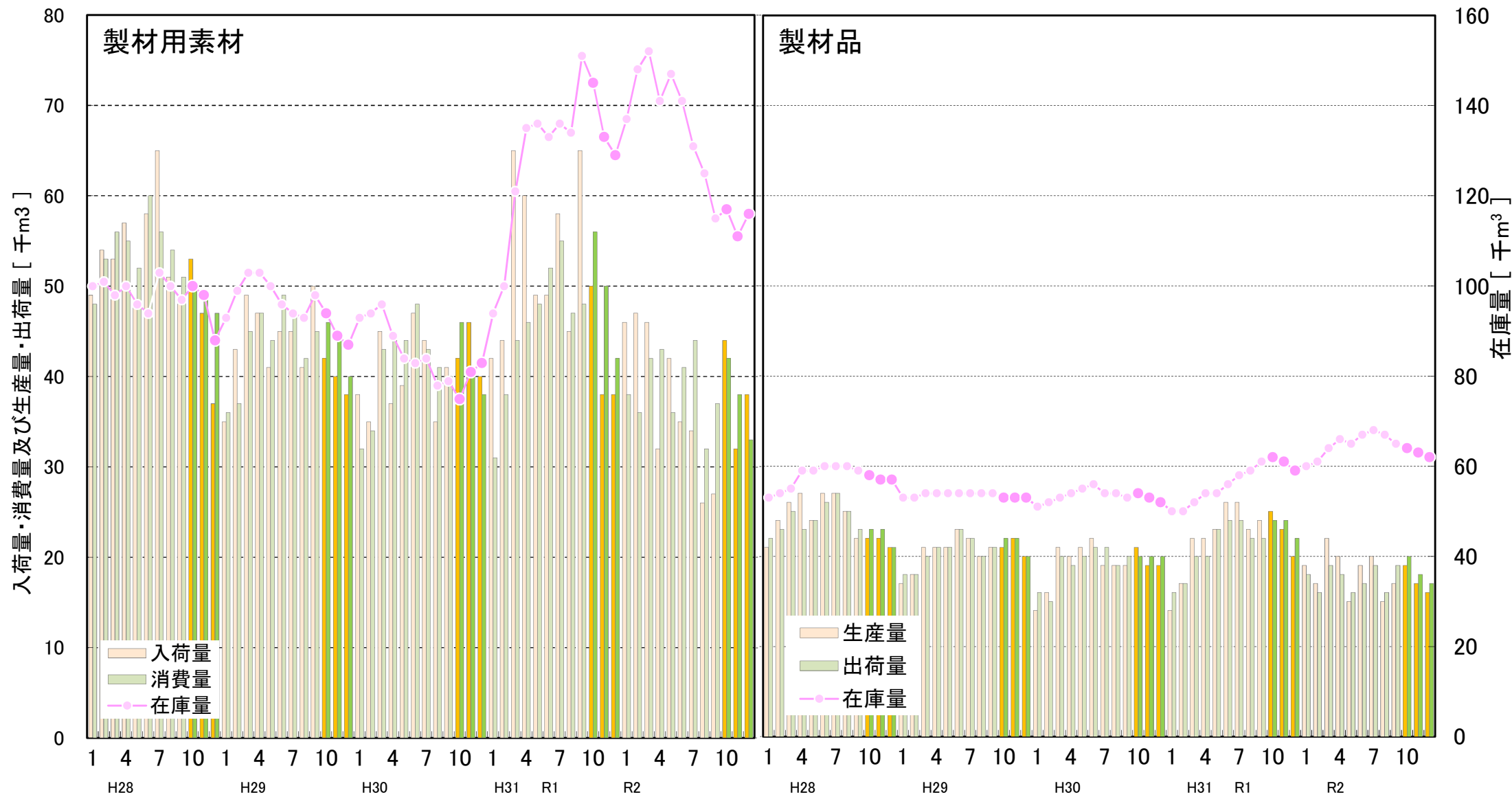


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年12月)

- 製材用素材の令和2年10～12月の入荷量は去年同期比-10%、消費量は-24%、在庫量は12月比-10%。
- 製材品の令和2年10～12月の生産量は去年同期比-24%、出荷量は-21%、在庫量は12月比+5%。

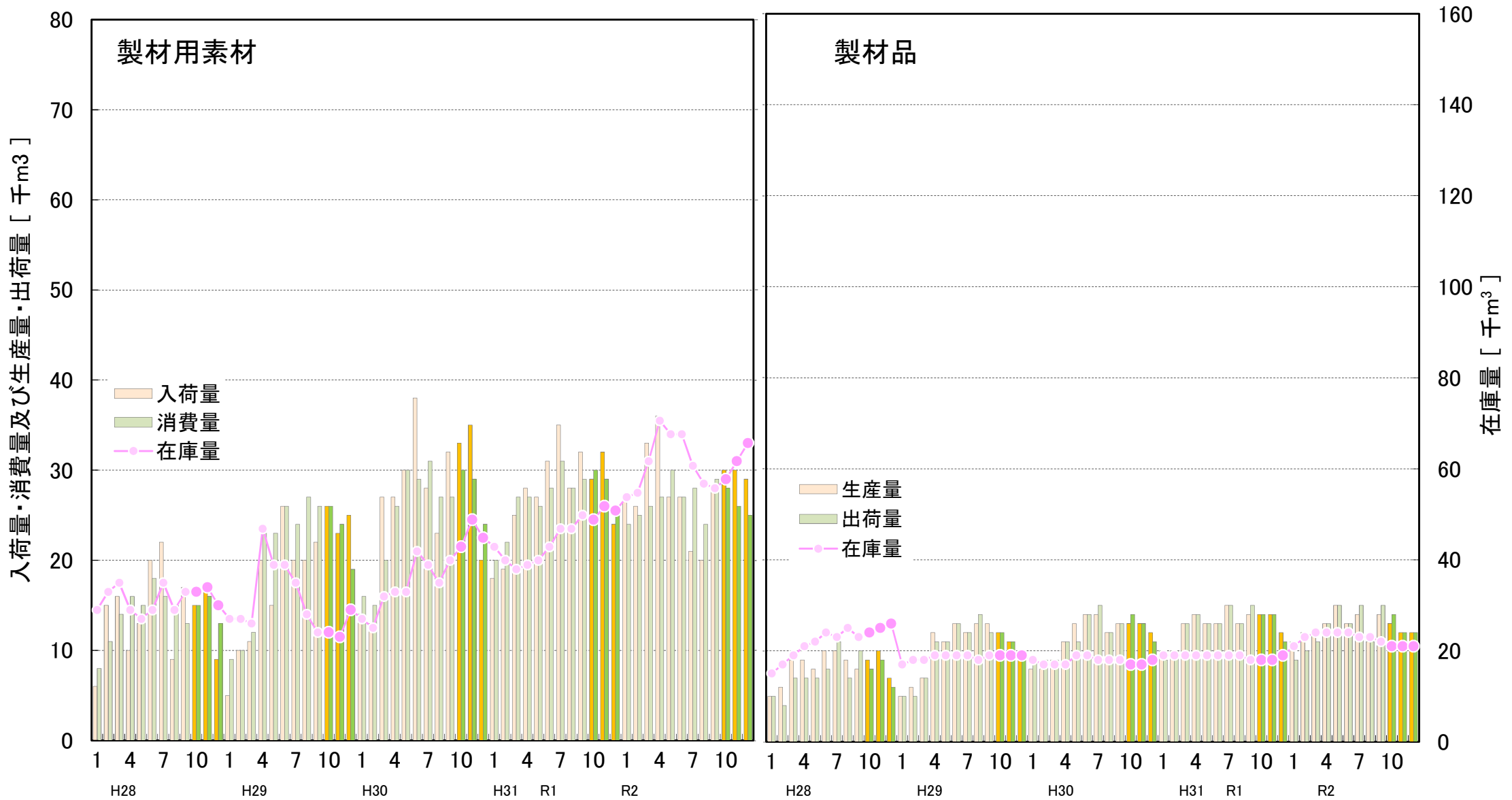


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年12月)

○ 製材用素材の令和2年10～12月の入荷量は昨年同期比+5%、消費量は-6%、在庫量は12月比+29%。
 ○ 製材品の令和2年10～12月の生産量は昨年同期比-7%、出荷量は-3%、在庫量は12月比+11%。

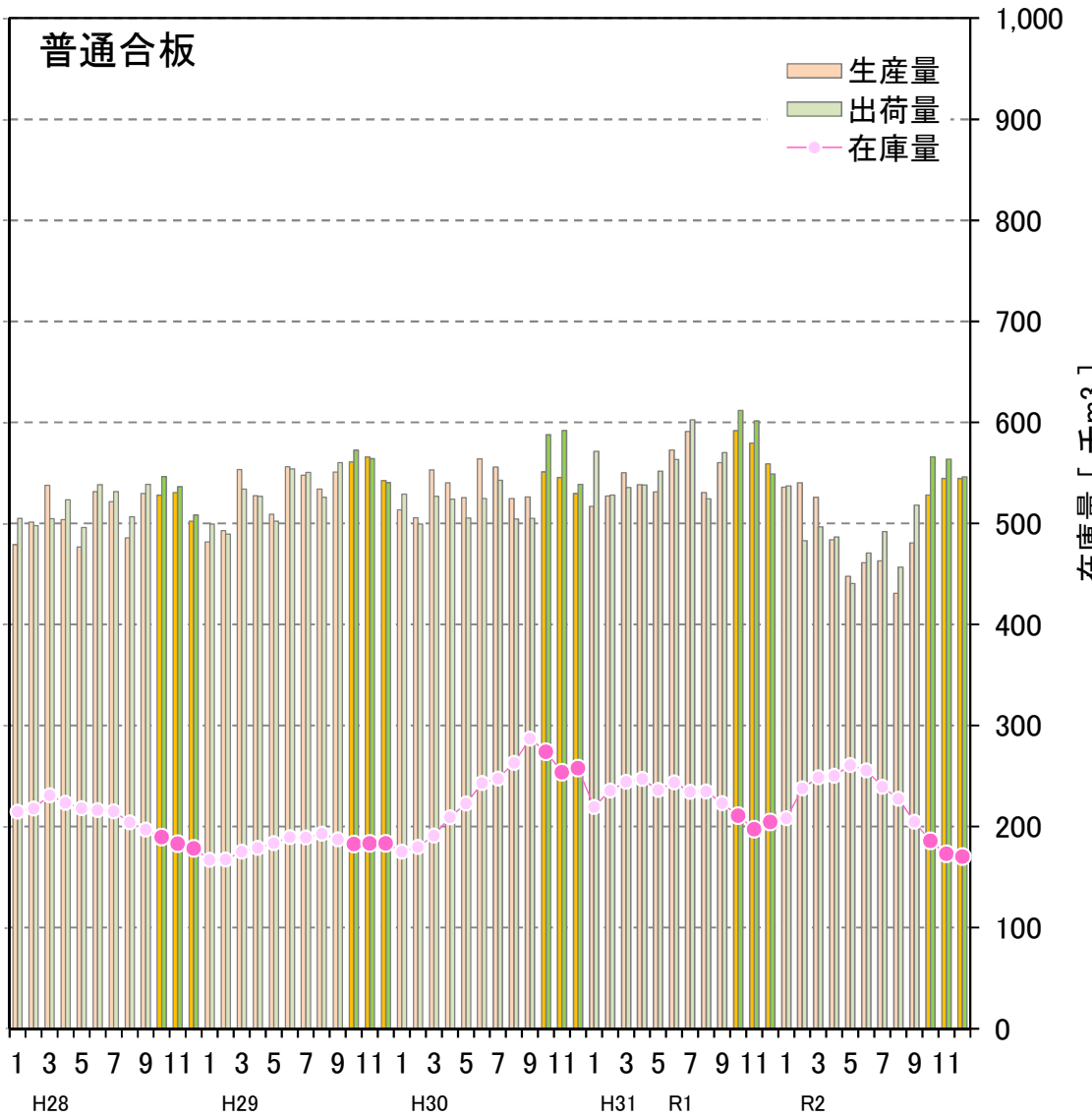
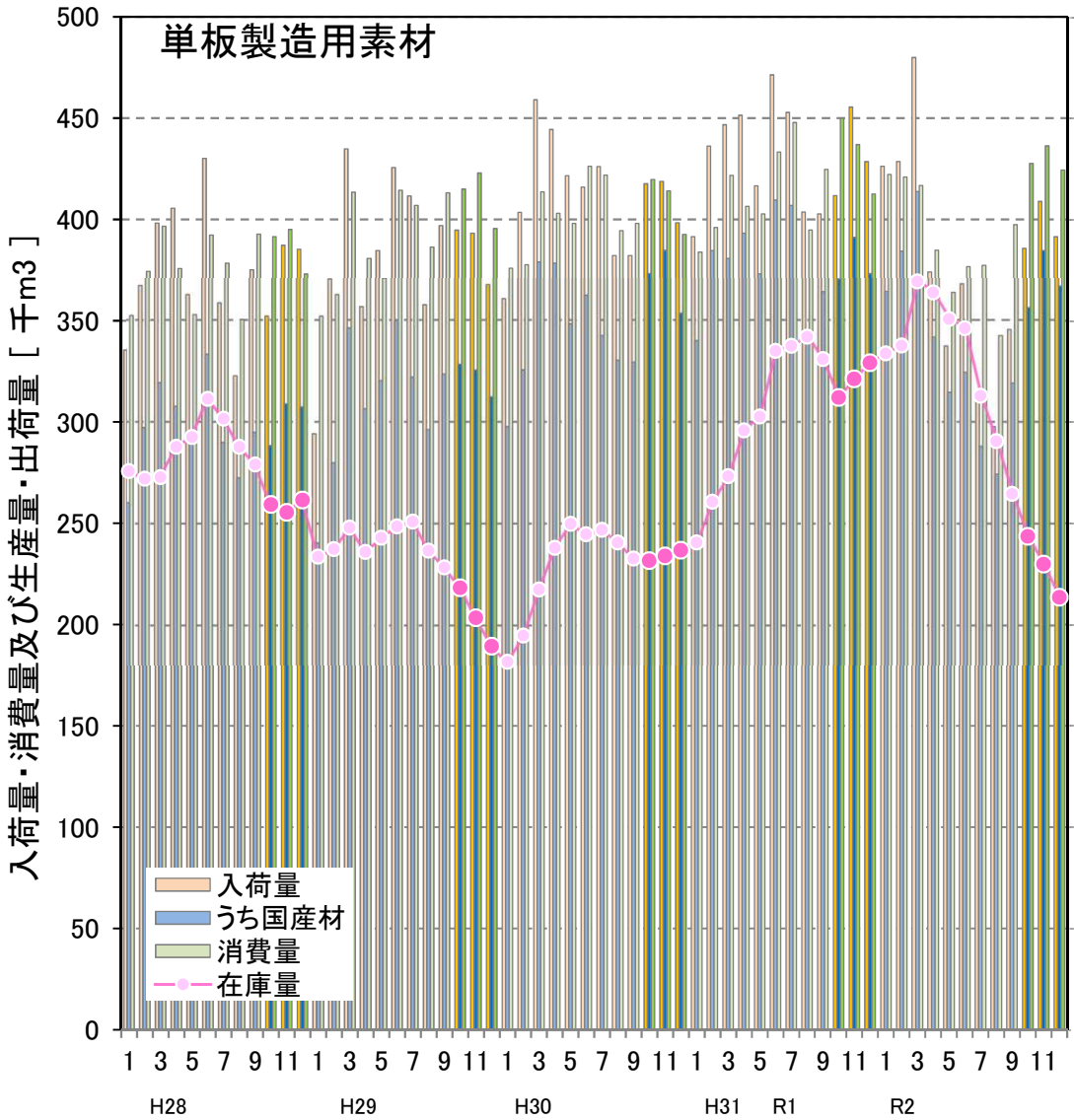


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 全国の単板製造用素材・普通合板の入荷量等の推移(平成28年1月～令和2年12月)

○ 単板製材用素材の令和2年10～12月期の入荷量は去年同期比－8%、うち国産材は－2%、消費量は－1%、在庫量は12月比－35%。
 ○ 普通合板の令和2年10～12月期の生産量は去年同期比－7%、出荷量は－5%、在庫量は12月比－17%



出典：農林水産省「合板統計」

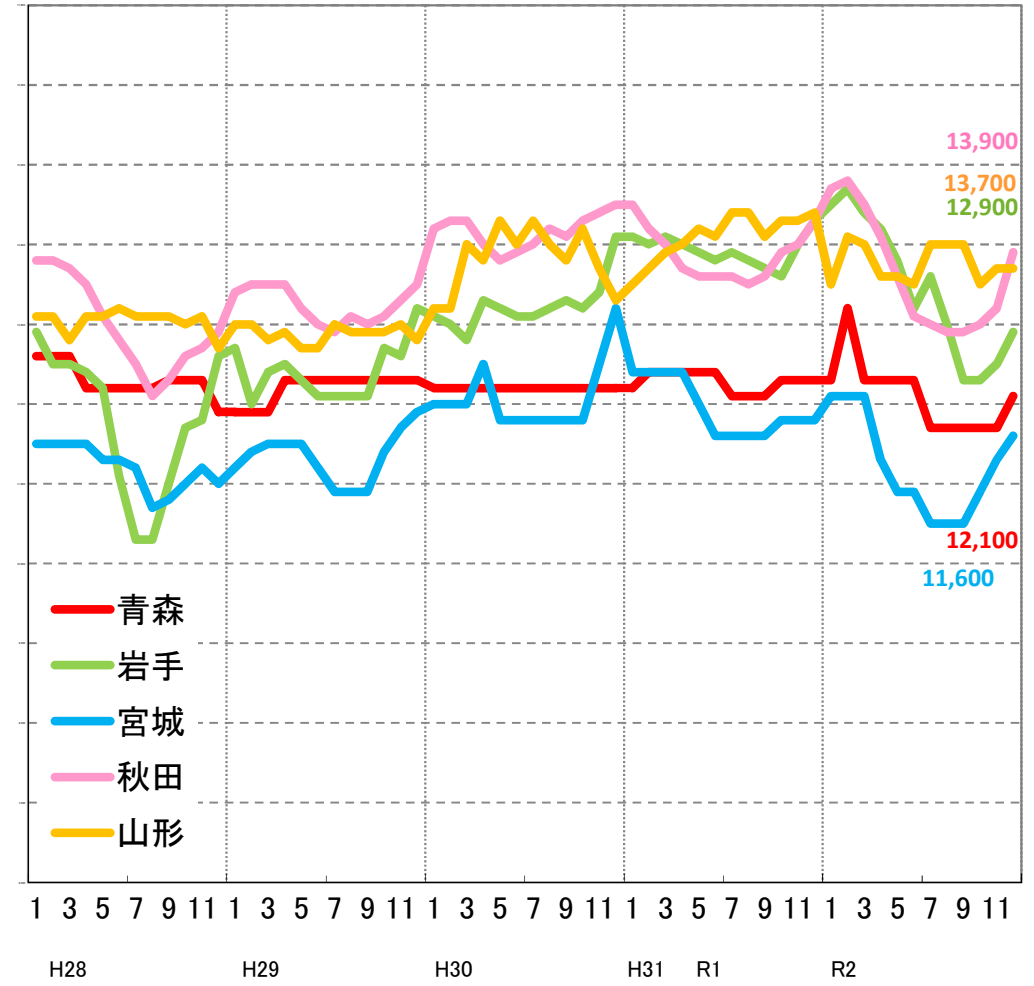
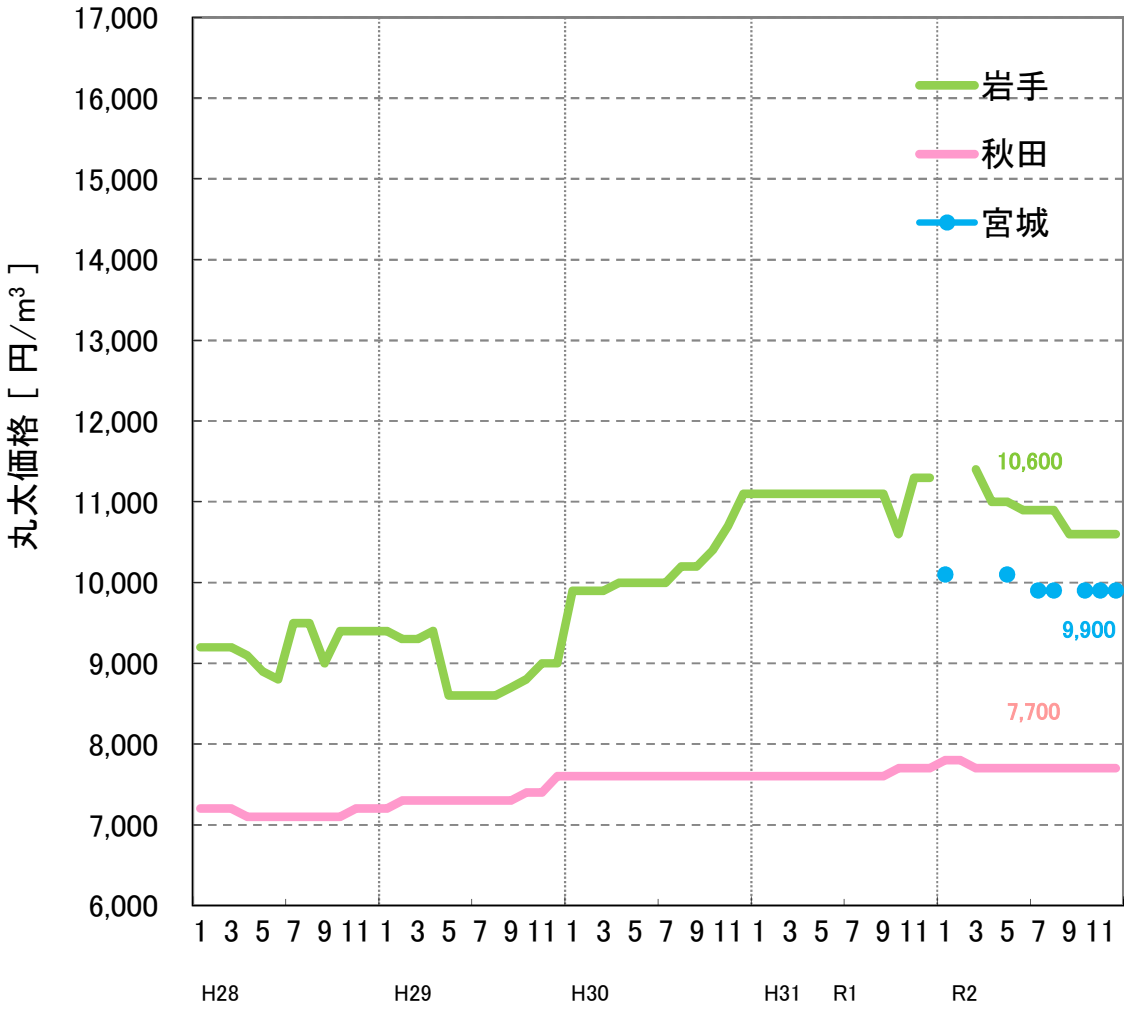
※単板製造用素材の集計値は令和元年6月に、普通合板の集計値は平成31年1月及び令和元年6月に調査対象工場の見直しがあったため、その先月の数値とは接続しない。

■ すぎ丸太価格の推移(平成28年1月～令和2年12月)

- すぎ小丸太価格は、岩手・宮城・秋田とも概ね保合で推移。
- すぎ中丸太価格は、岩手・宮城・秋田で強含み、山形は保合で推移。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



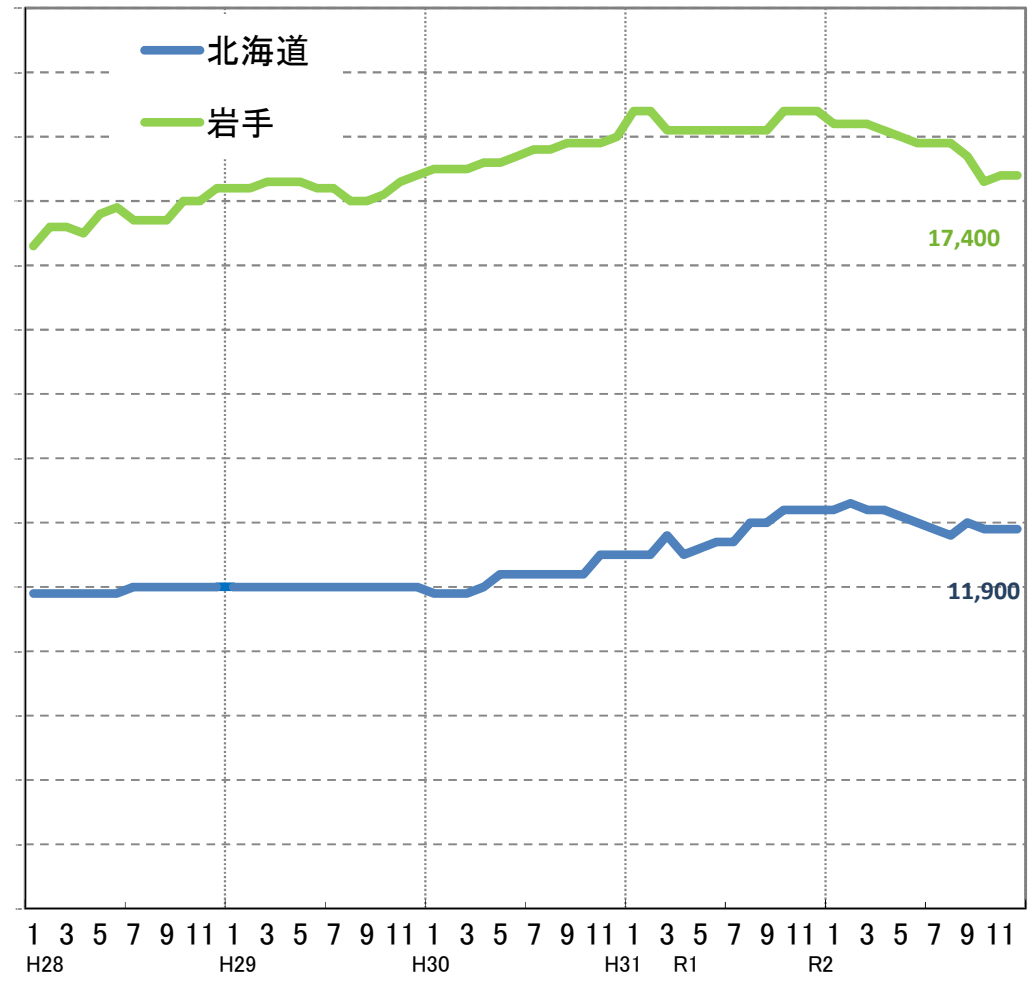
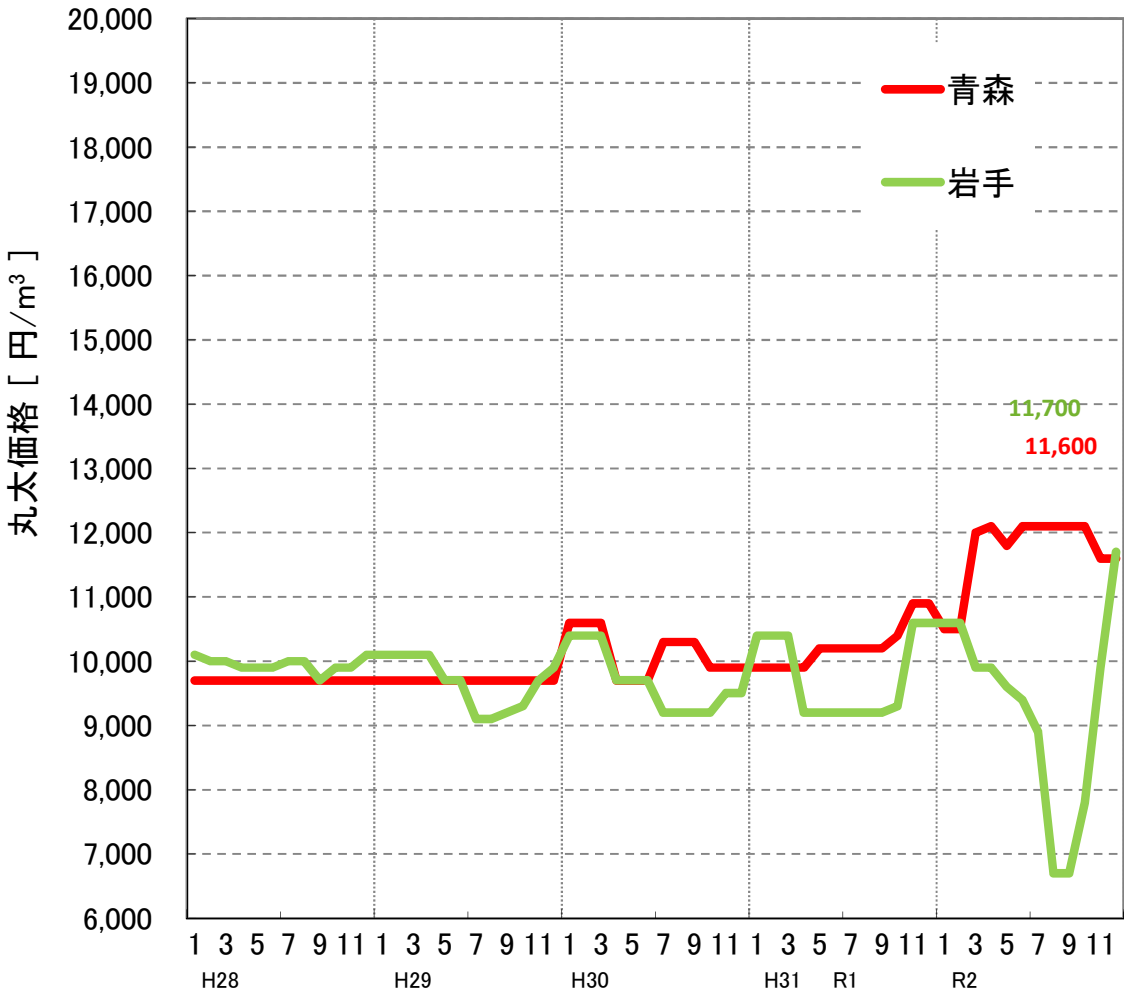
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格。
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ まつ・からまつ丸太価格の推移(平成28年1月～令和2年12月)

○ まつ中丸太価格は、青森は概ね保合、岩手は急激に値上がりした。
 ○ からまつ中丸太価格は、岩手・北海道では概ね保合。北海道との価格差は5,400円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

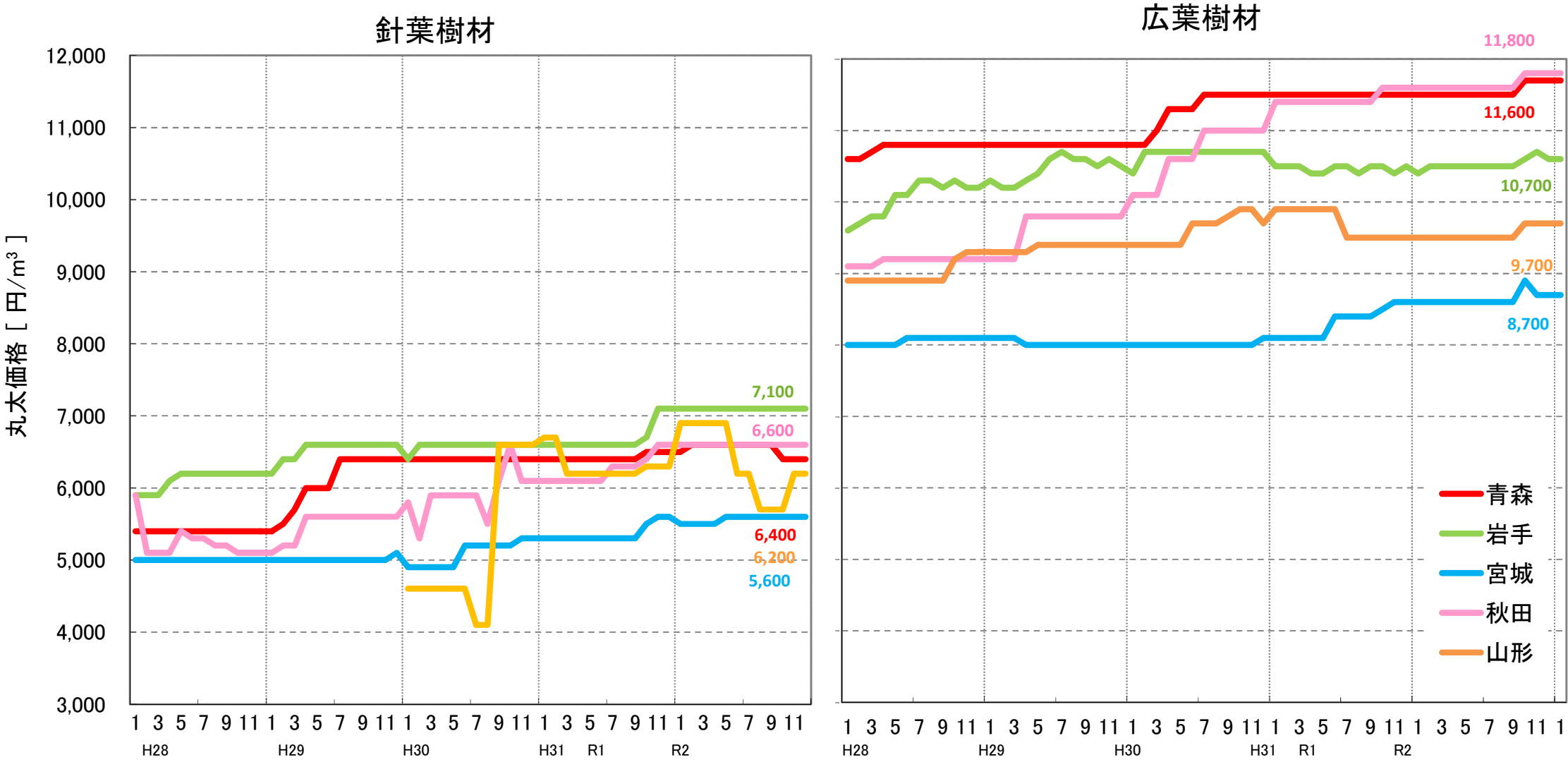
からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格。
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ チップ用丸太価格の推移(平成28年1月～令和2年12月)

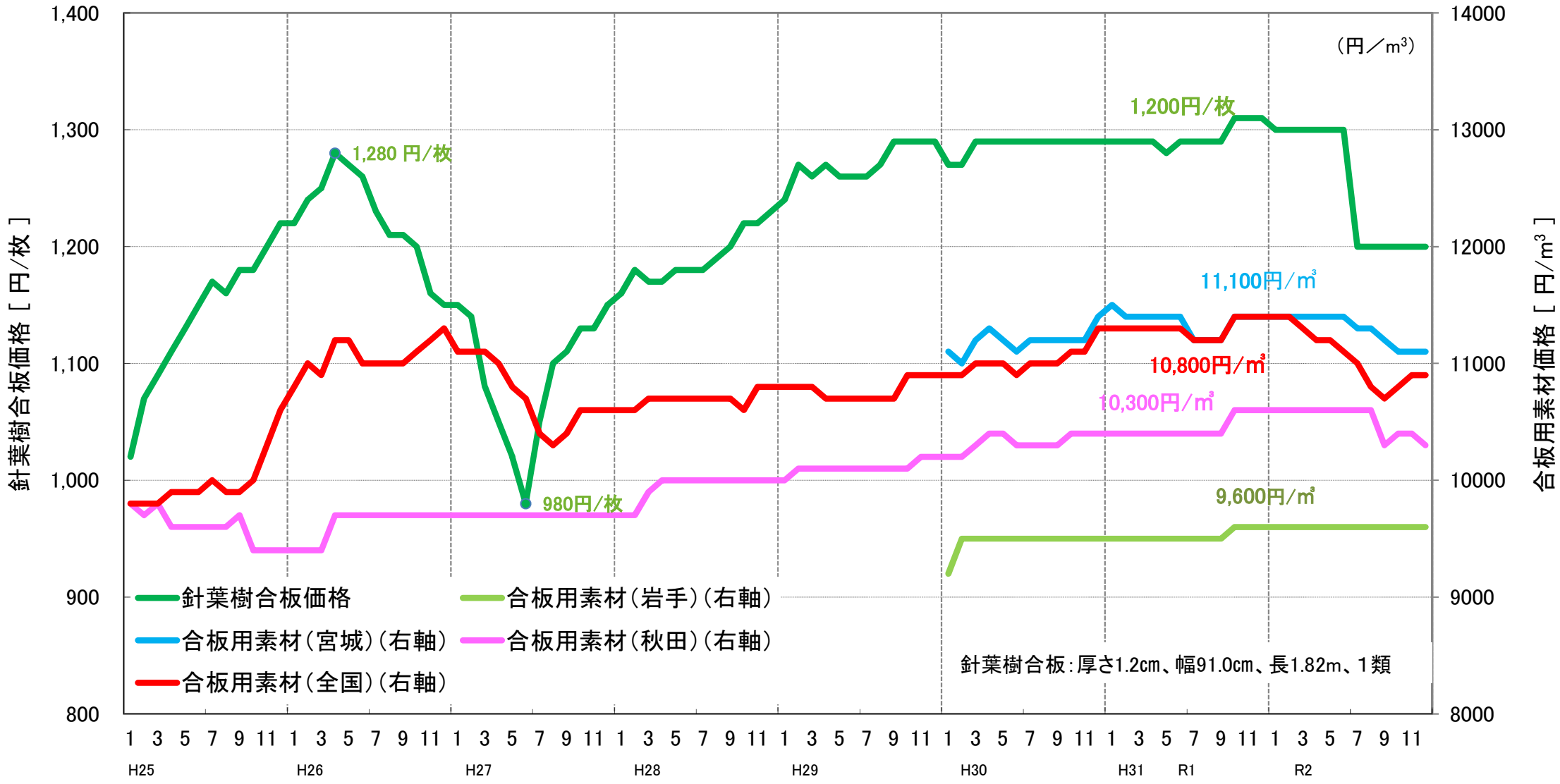
○ チップ用丸太の価格は針葉樹材、広葉樹材ともおおむね保合で推移。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格。
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

針葉樹合板及び合板用素材価格の推移(平成28年1月～令和2年12月)

- 針葉樹合板価格は1,200円/枚。
- 合板用素材価格は岩手・宮城・秋田ともおおむね保合で推移。

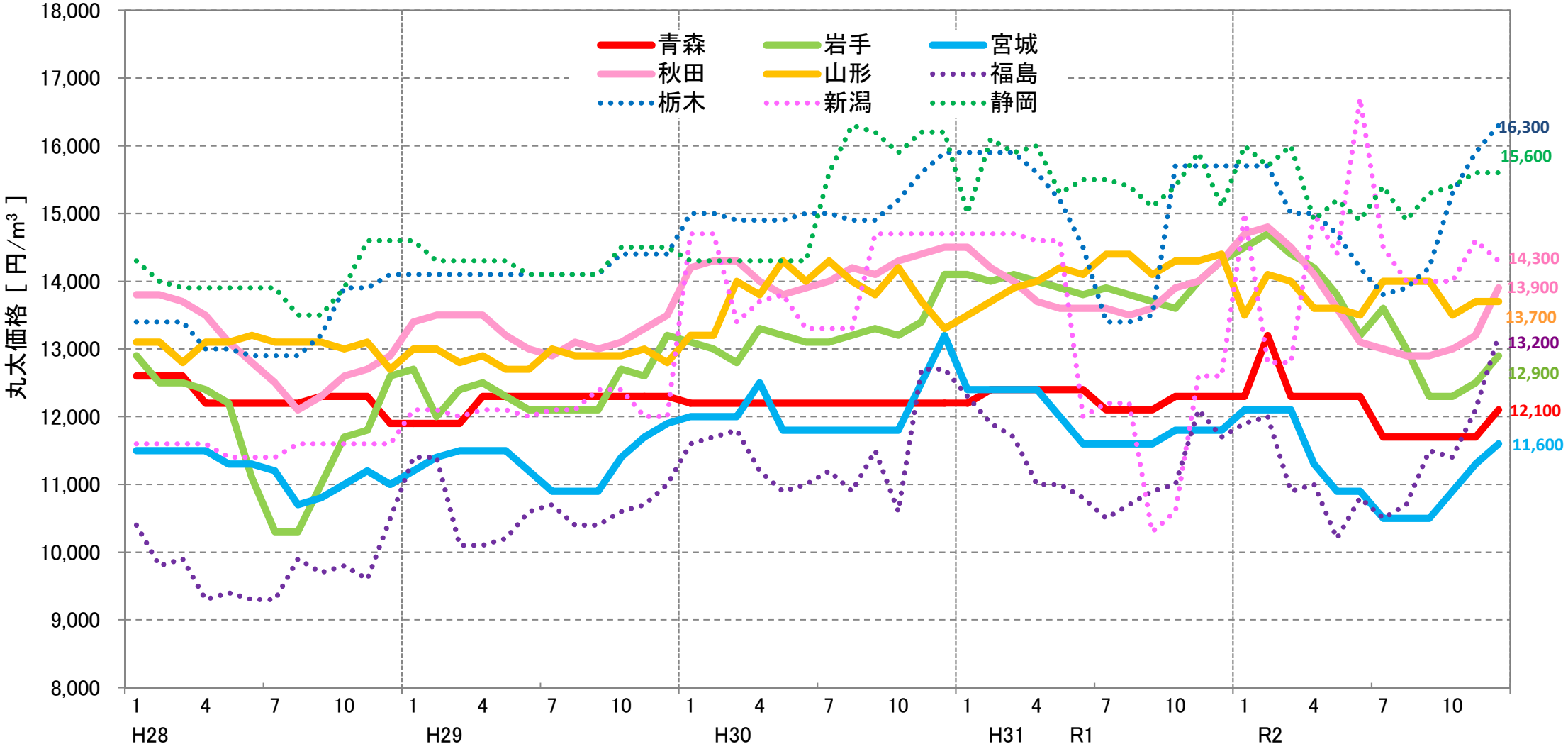


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較(平成28年1月～令和2年12月)

○すぎ中丸太価格は、岩手・宮城・秋田で強含み、山形は保合で推移。
 ○福島・栃木は強含み、新潟・静岡は保合で推移。

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

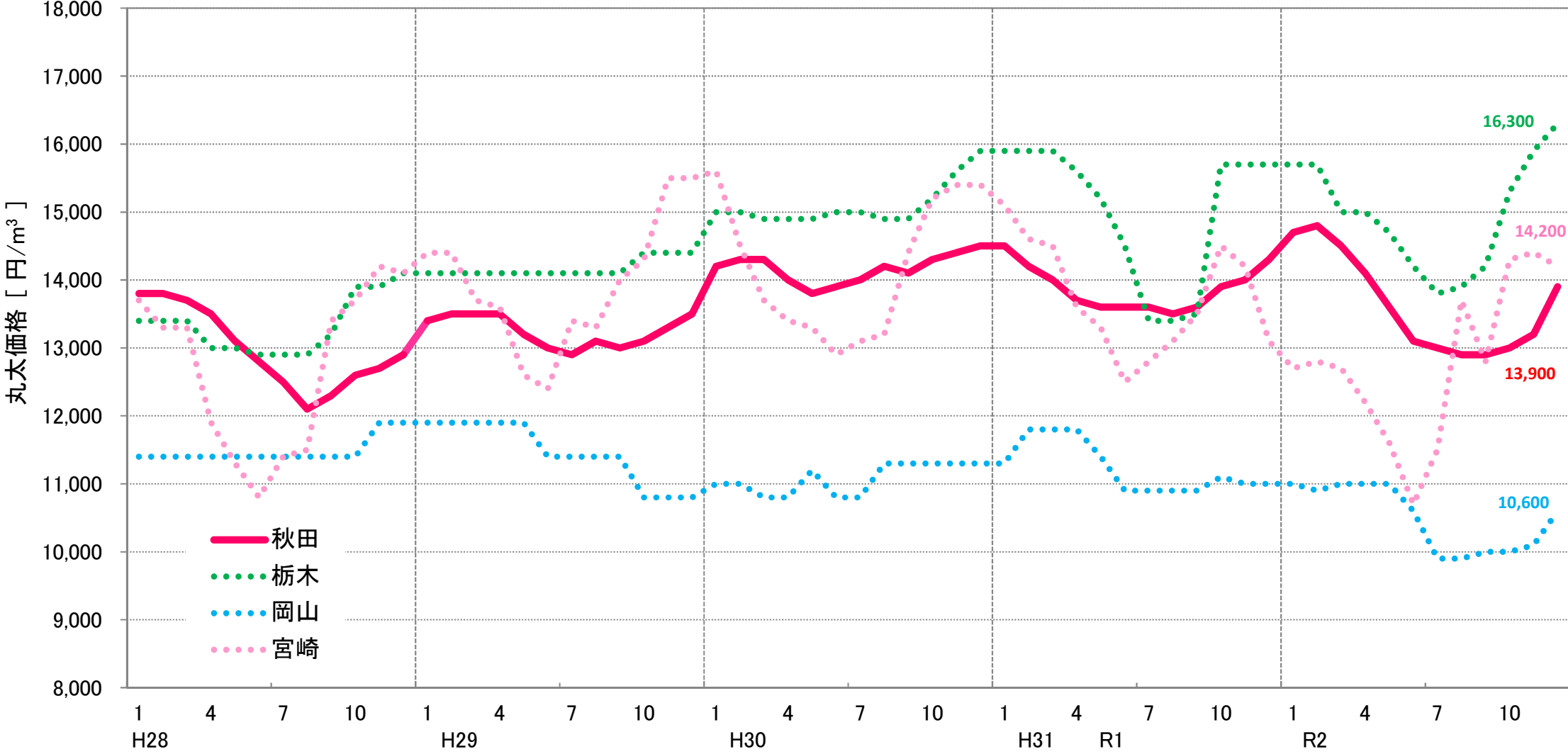


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較(平成28年1月～令和2年12月)

○ 秋田・栃木・岡山は強含み、宮崎はおおむね保合で推移。
 ○ 秋田と栃木では価格差が2,400円。

すぎ中丸太3.65～4.00m(24～28cm)

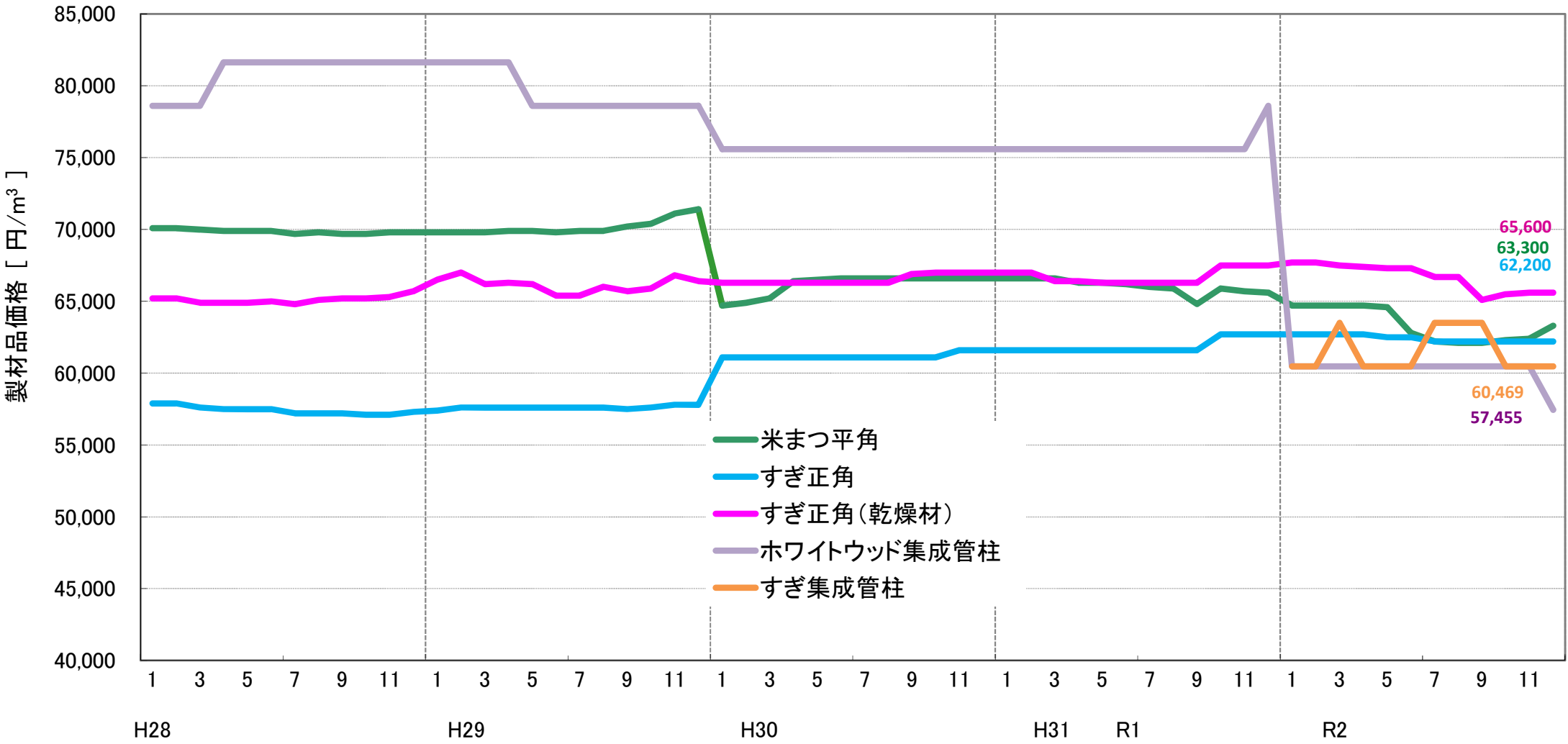


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 全国の製材品主要品目価格の推移(平成28年1月～令和2年12月)

○ ホワイトウッド集成管柱は弱含み、米まつ平角は強含み、すぎ正角・すぎ集成管柱は保合で推移。

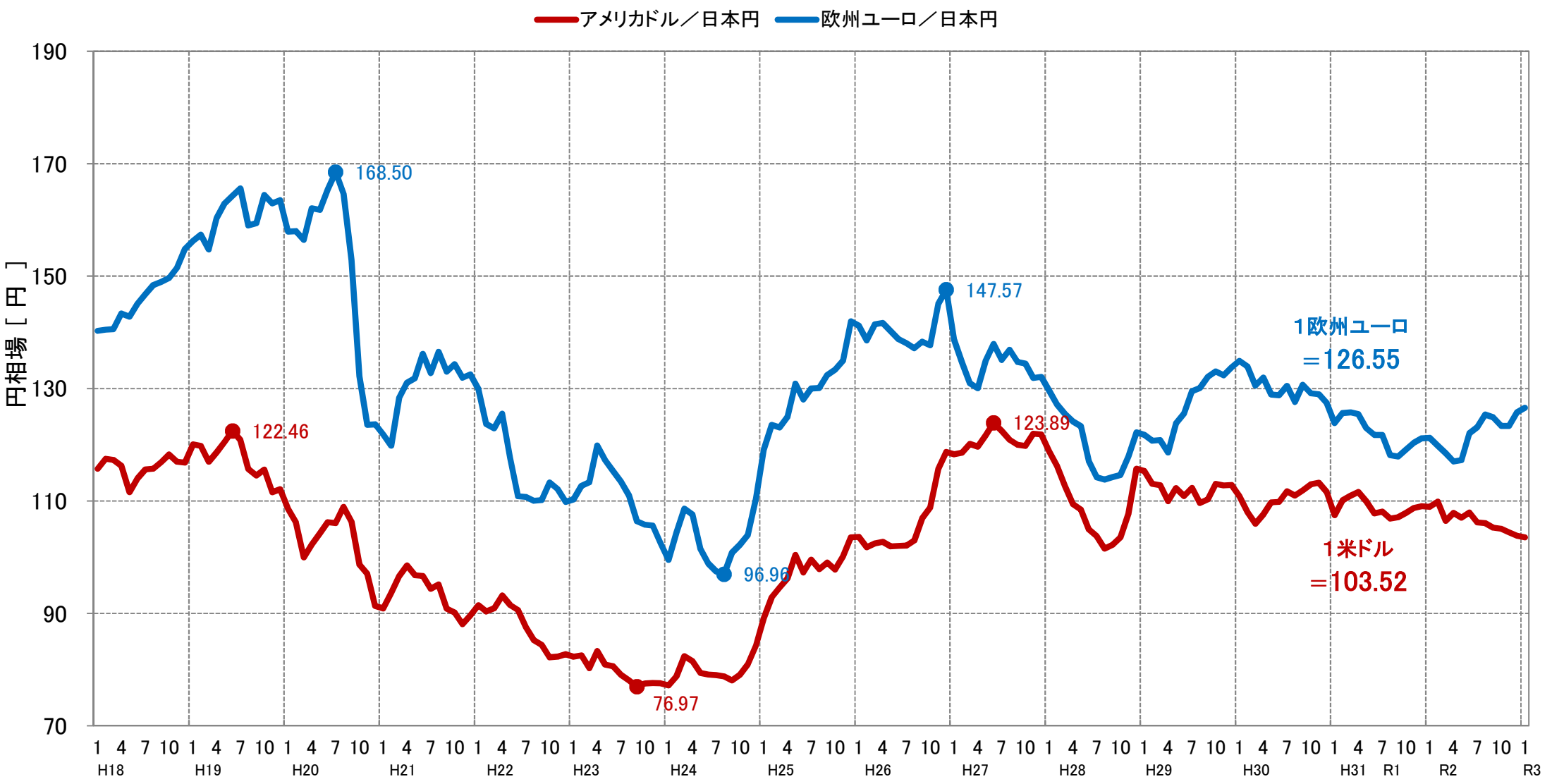
製材品価格



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者への店頭渡し価格。
 ※ 平成30年1月から、調査都道府県、調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

為替レートの推移(平成18年1月～令和3年1月)

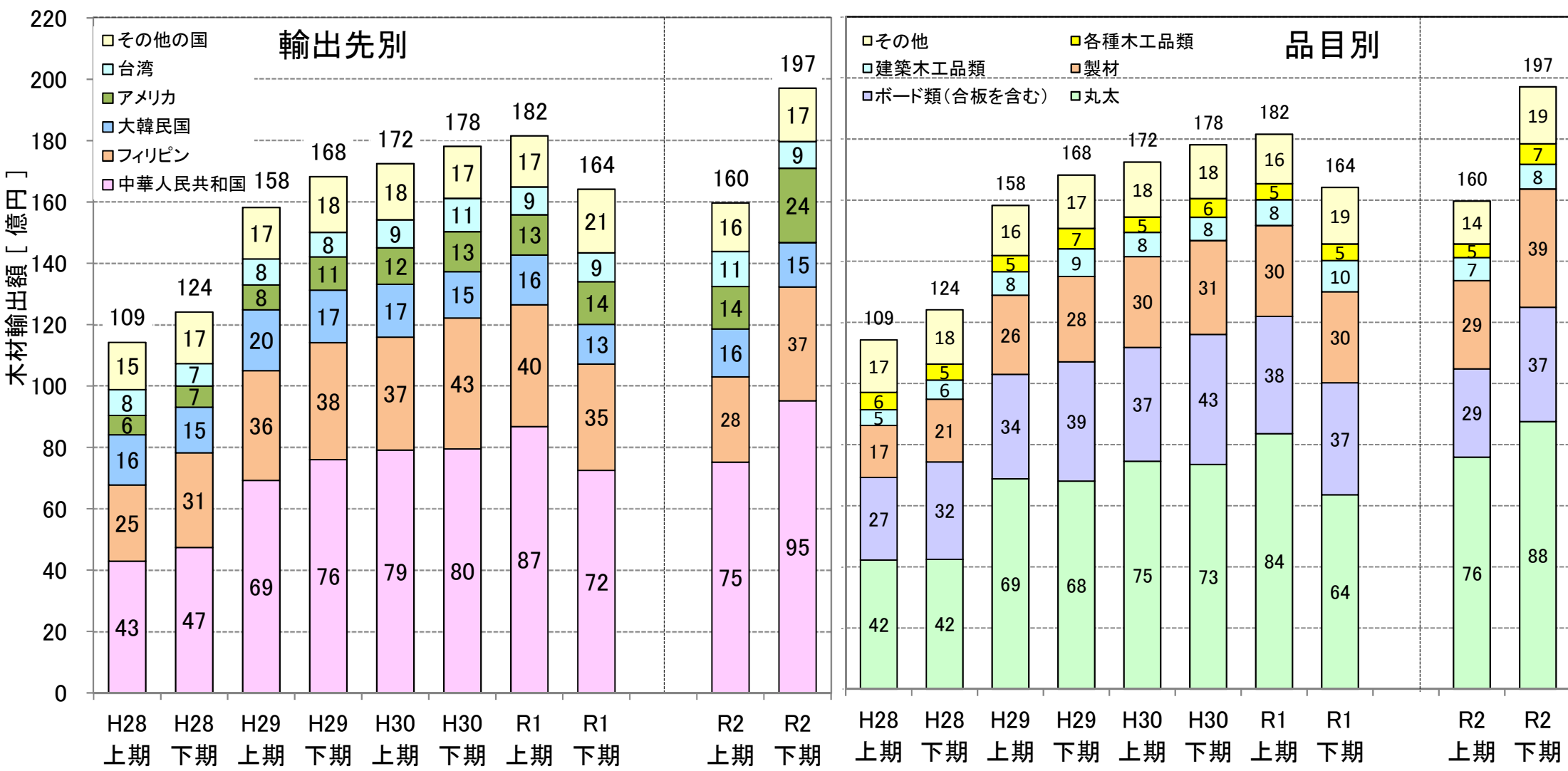
○ 米ドルは、1月29日現在103円台。
 ○ 欧州ユーロは、1月29日現在126円台。



出典：Yahoo!ファイナンス(毎月の値は月間の最高値と最低値の平均)

輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移(全国)

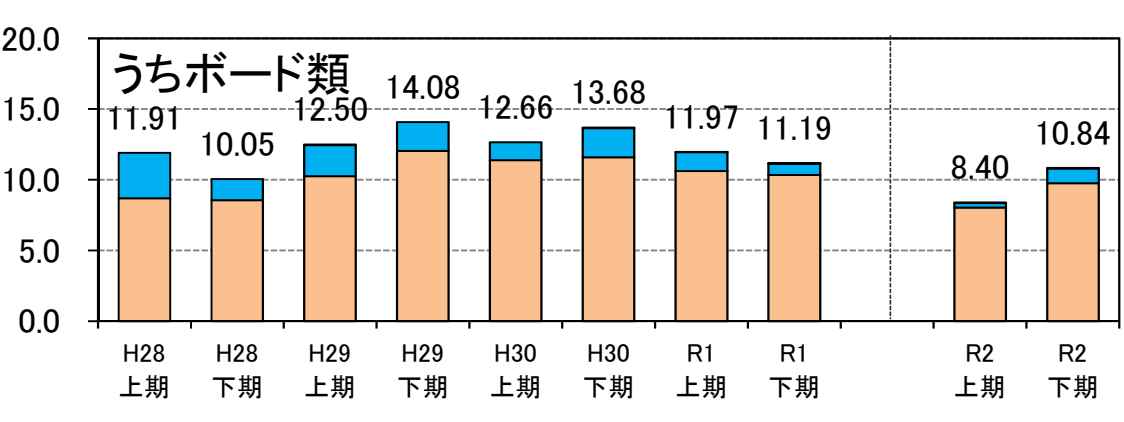
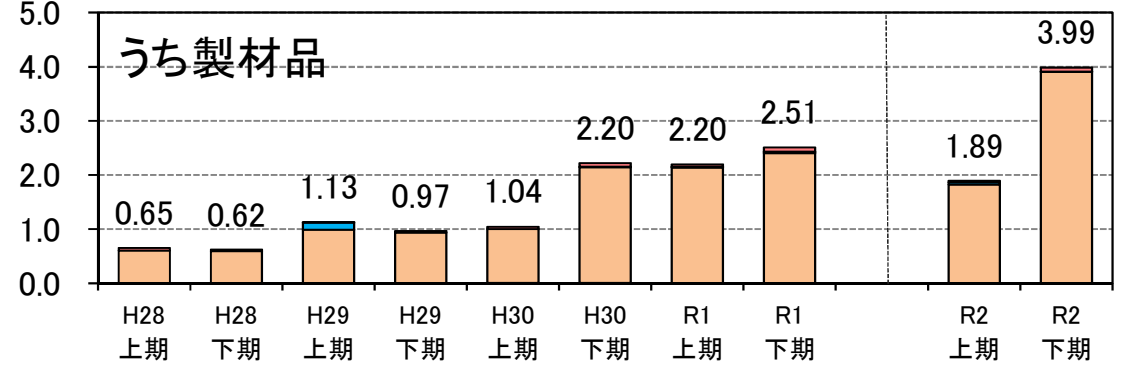
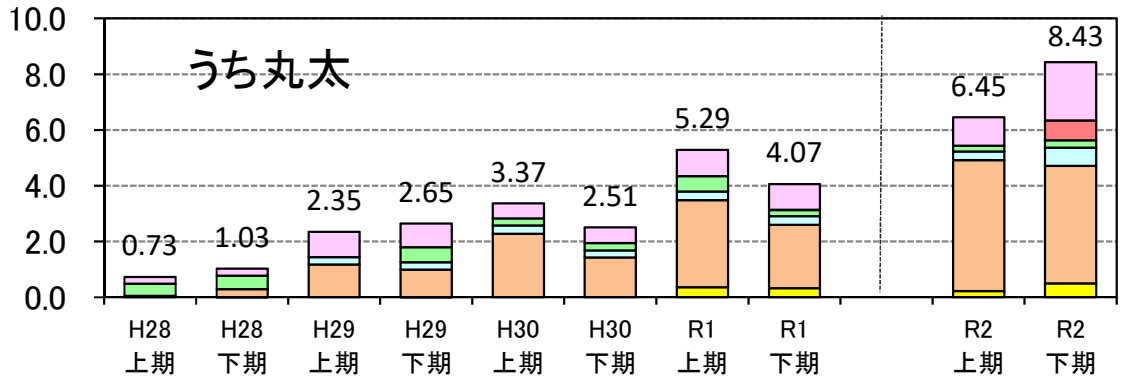
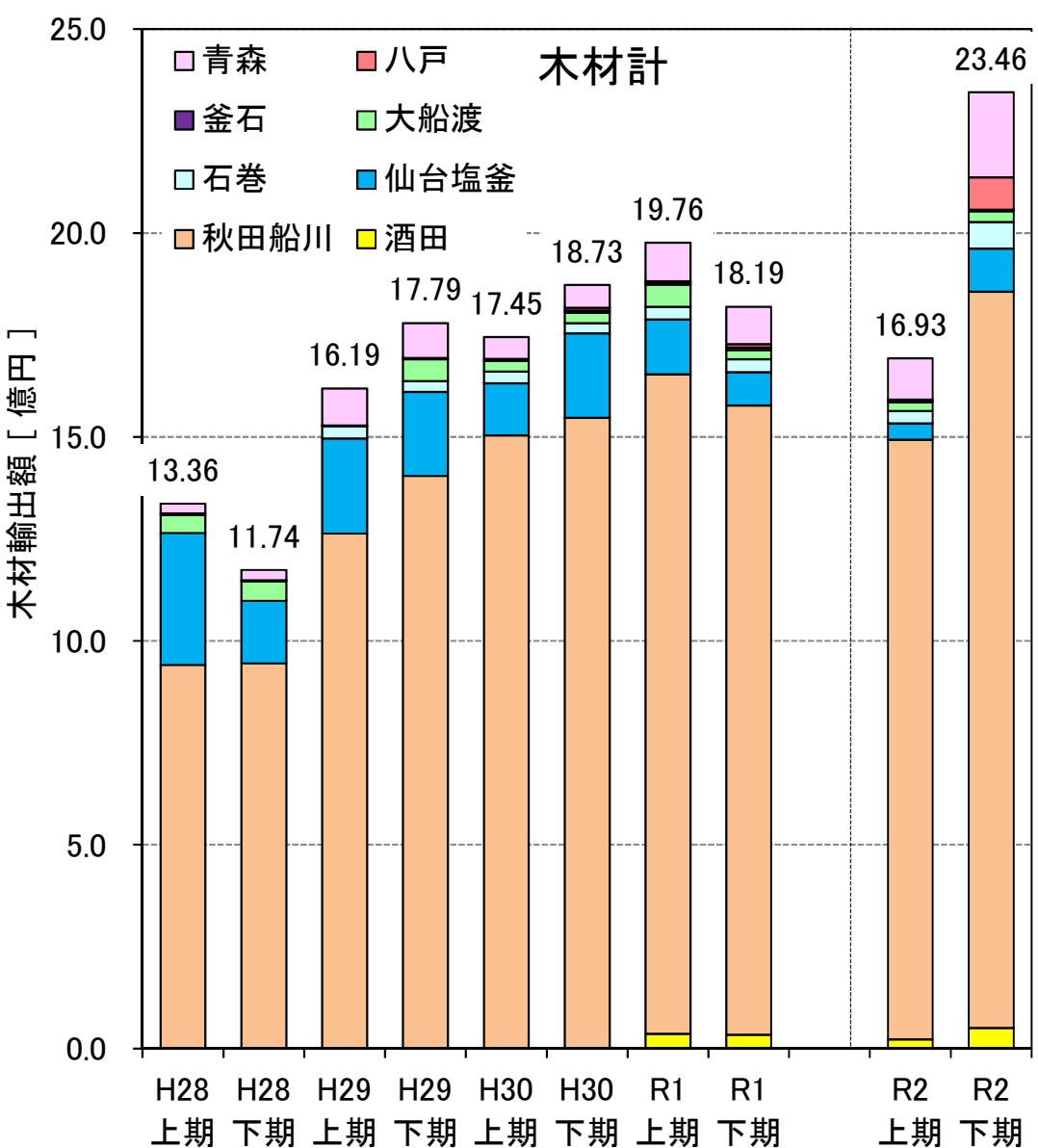
- R2年下期とR1年下期の木材輸出額を比較すると+20%となっている。
- R2年下期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では丸太が最も高く、次いで製材、ボード類となっている。
- R2年下期とR1年下期を品目別に比較すると丸太+38%、製材+30%、ボード類+2%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移

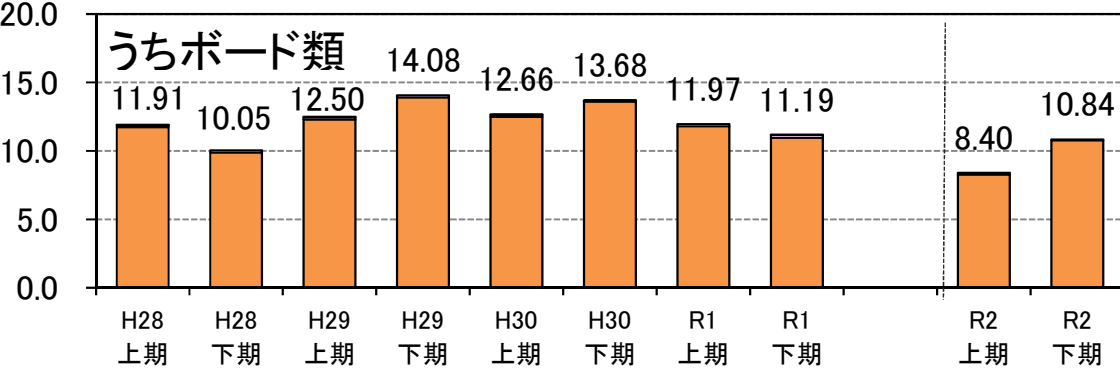
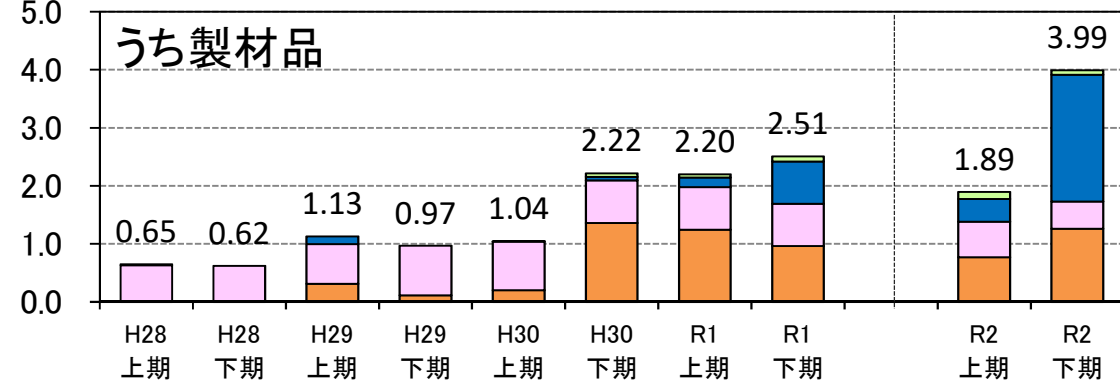
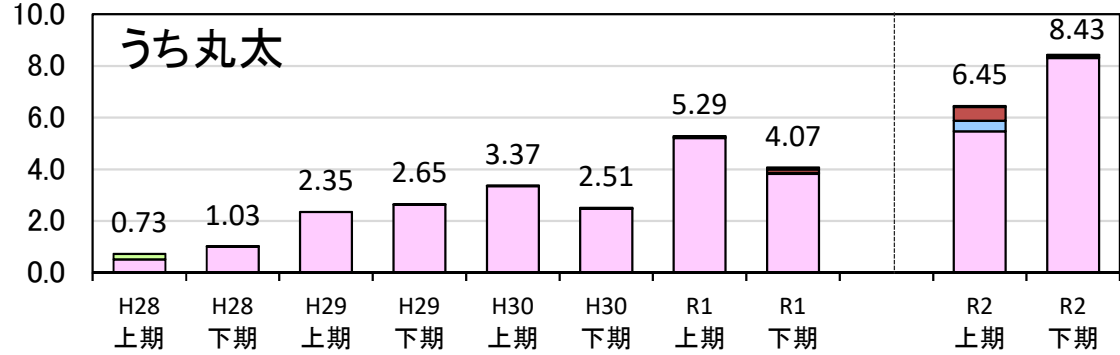
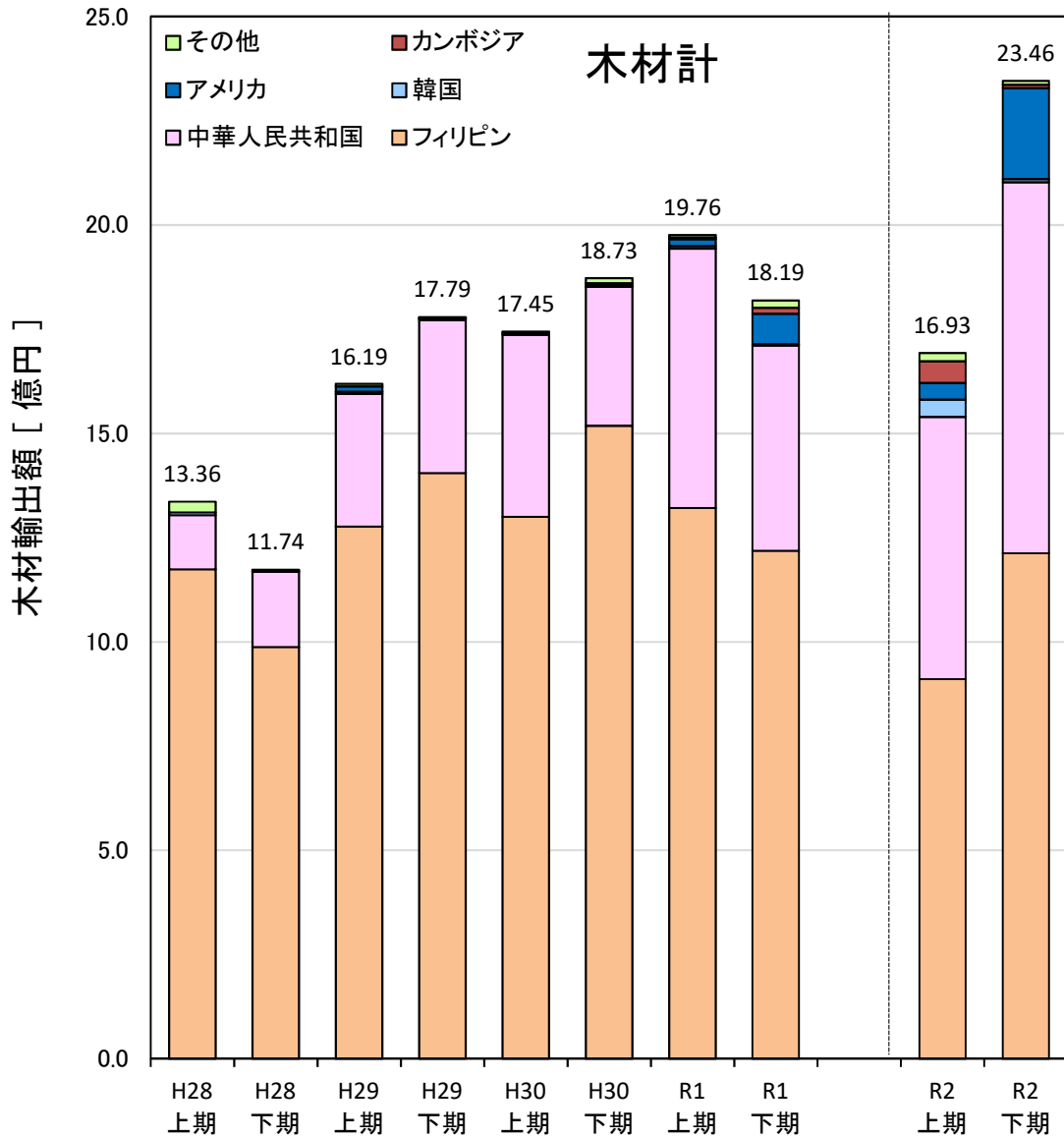
○ R2年下期とR1年下期を比較すると+29%となっている。
 ○ R2年下期とR1年下期を品目別に比較すると丸太+107%、製材+59%、ボード類-3%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

- R2年下期の主要相手国は、フィリピンが最も高く、次いで中国、アメリカとなっている。
- 品目別では丸太は中国が最も多く、製材品はアメリカ、ボード類はフィリピンが最も多い。

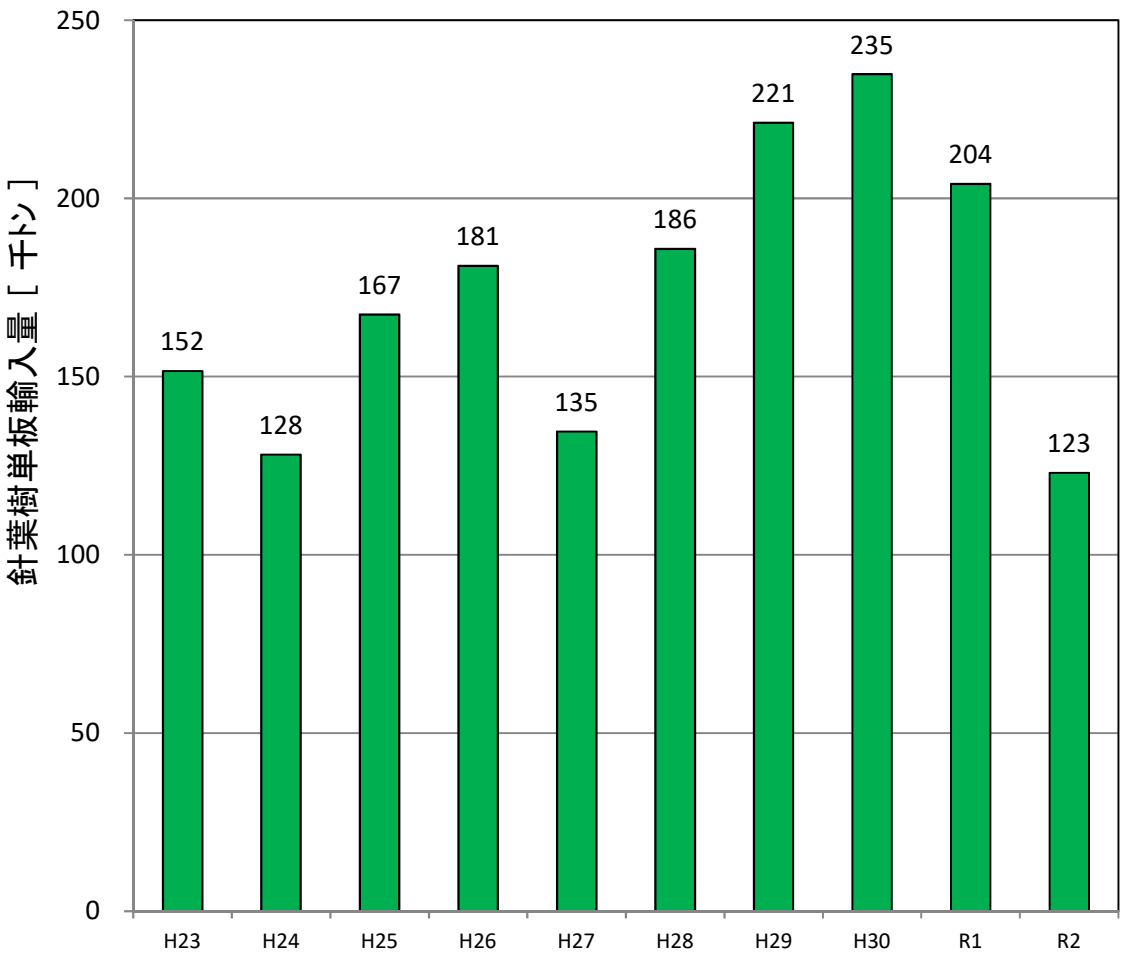


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

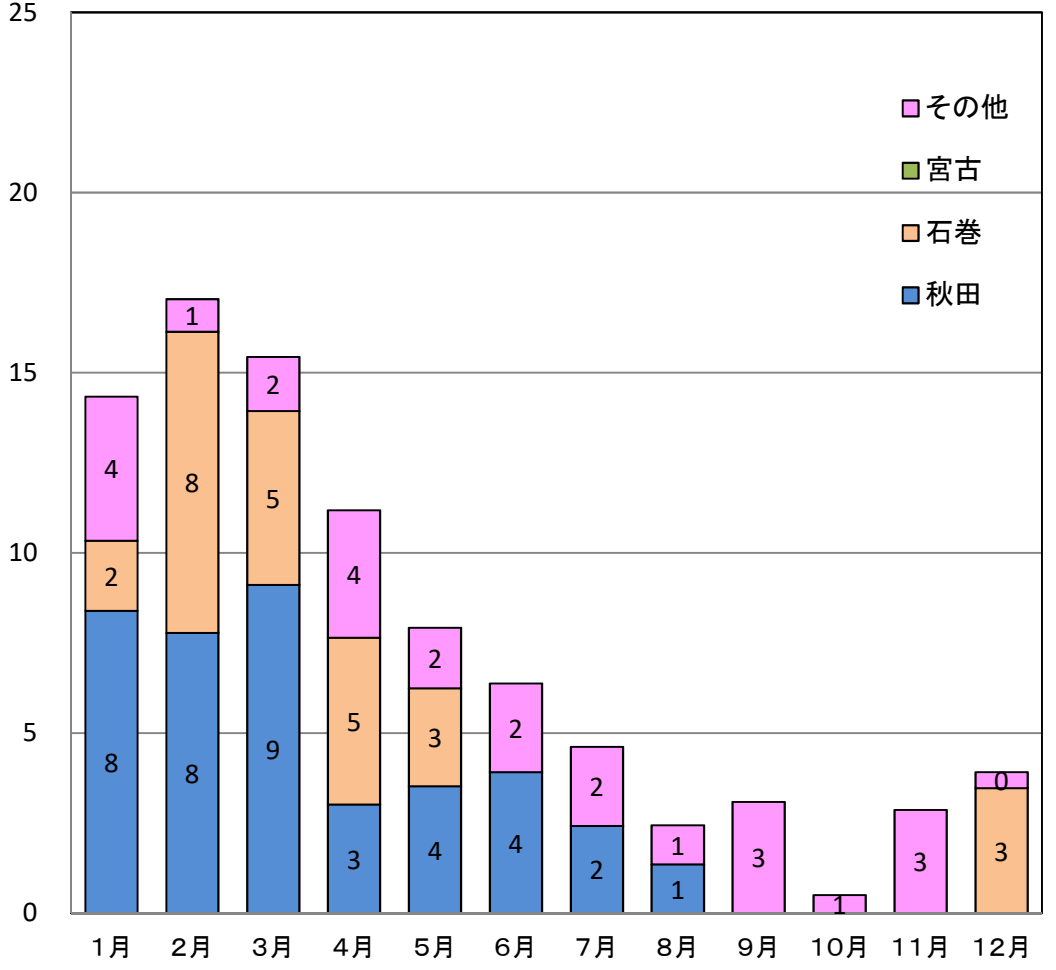
ロシアからの針葉樹単板輸入量の推移

○ ロシアからの針葉樹単板輸入量は前年比-40%となっている。
 ○ R2年の港別輸入量の比率は、秋田44%、石巻29%、その他27%となっている。

針葉樹単板(ロシア)



R2年 月別港別輸入量

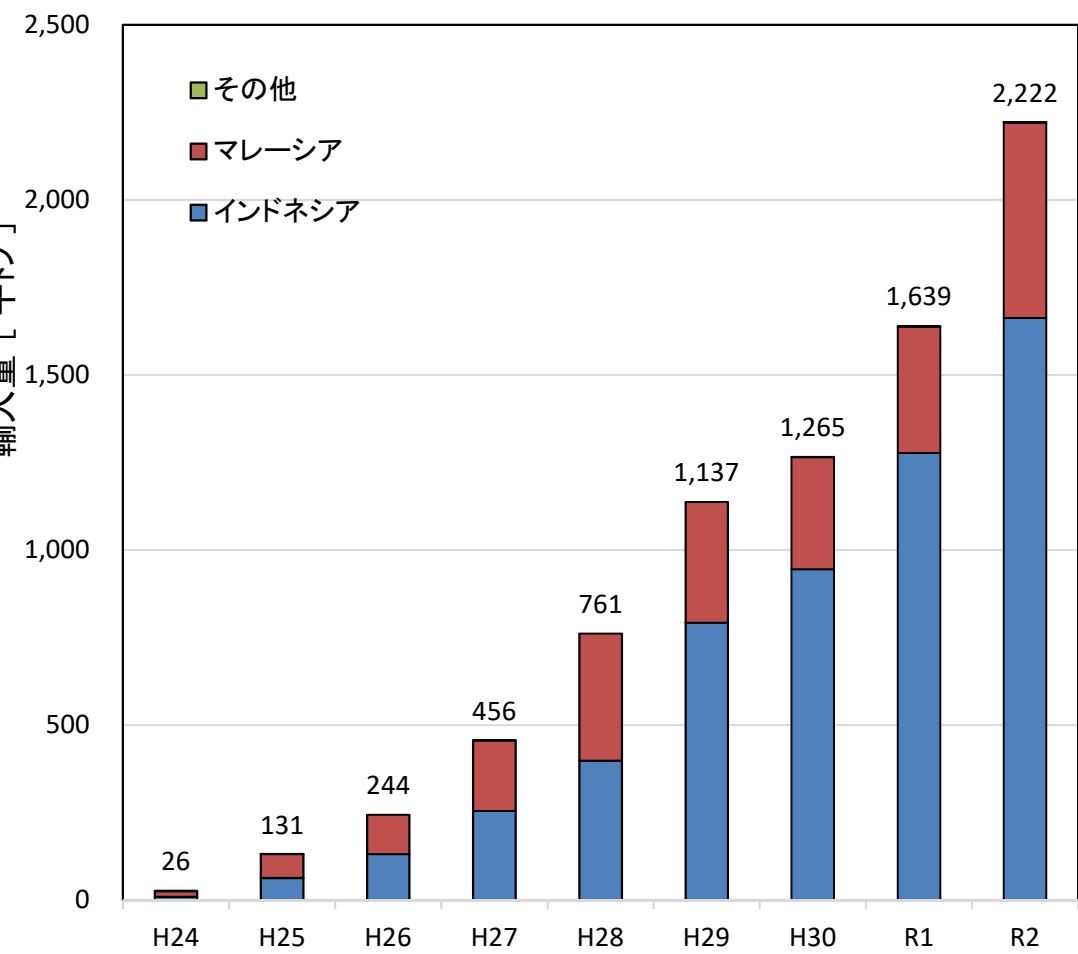


出典：財務省「貿易統計」より、左図「品別国別表」右図「統計品別国別税関別一覧表」

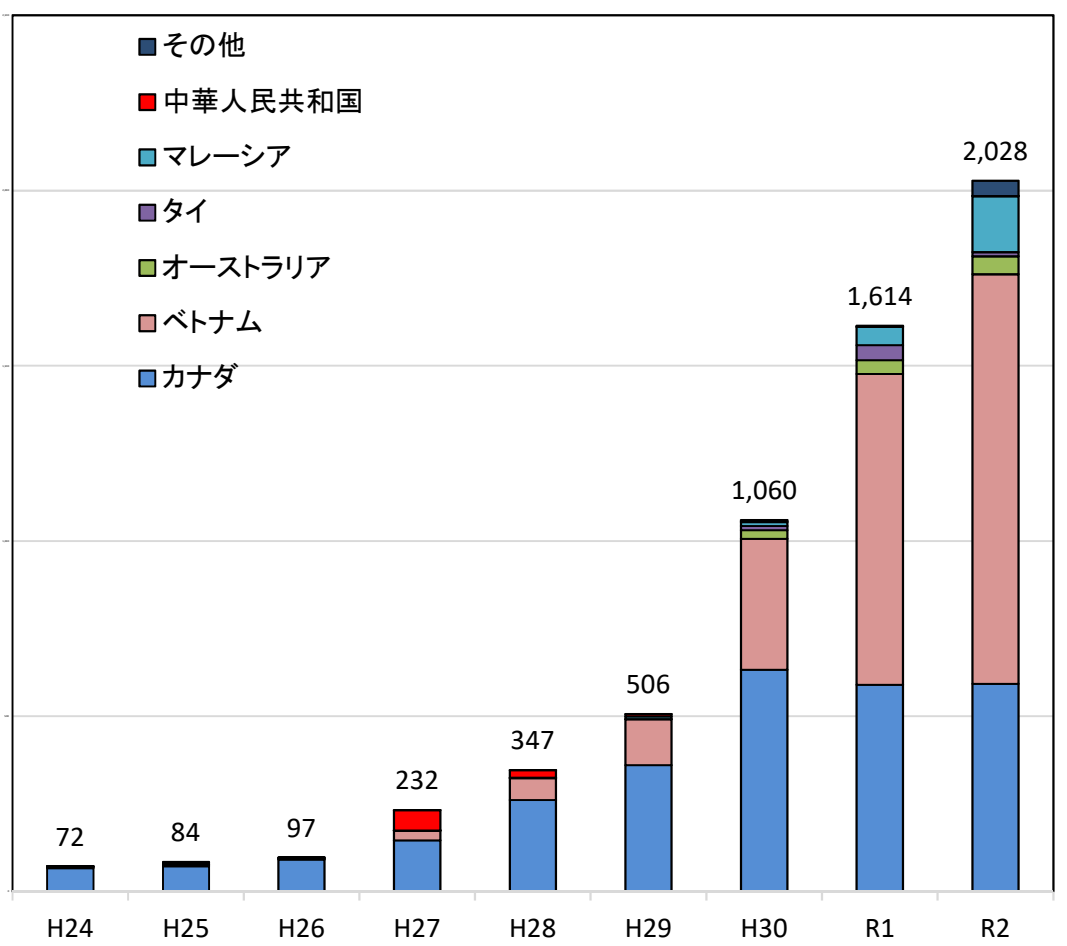
PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKSの年間輸入量は年々増加しており、R2年とR1年を比較すると+36%となっている。
- 主な輸入相手国はインドネシア(75%)、マレーシア(25%)となっている。
- 木質ペレットの年間輸入量は年々増加しており、R2年とR1年を比較すると+26%となっている。
- 主な輸入相手国はベトナム(58%)、カナダ(29%)となっている。

PKS



木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別表」